

第3章

子どもと大人

この章では「三重県子ども条例に基づく調査」の結果をもとに、家庭での状況や子どもの頃の体験、子どもの自己決定の場面などから子どもと大人の意識の違いなどをみます。

学校などでの出来事や困ったこと、悩みごとなどについて家の人に話をしている子どもの割合は、保護者自身が思うより低くなっています。

ふだんの生活のなかで大切にされていると感じる子どもの割合は、8割以上となっていますが、保護者が思うより低くなっています。また、今の社会のなかで子どもたちが大切にされていると感じる県民の割合は減少しており、約7割と子どもや保護者よりさらに低くなっています。

小学生時代に自然の中で遊んだことや地域の祭りや行事に参加したこと、家の人と一緒にスポーツをしたことなどの経験がある子どもは、ない子どもより近所の人とあいさつをしている割合が高くなっており、小さい頃の体験活動と地域との関わりに関係性がみられます。

ふだん生活しているなかで大切にされていると感じる子どもや大人が意見を聞いてくれると感じる子どもは、感じない子どもより、自分のことが好きな割合が高くなっています。

1 家族との関係

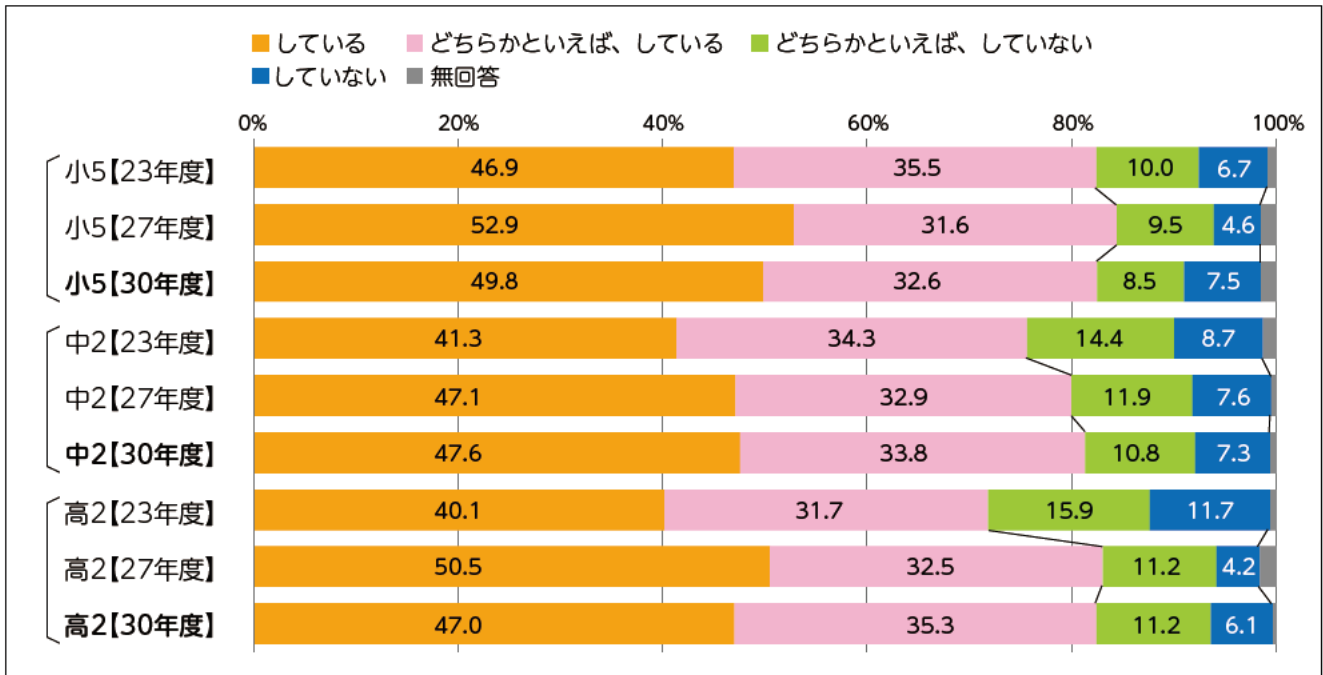
●学校などでの出来事について「話をしている」子ども、保護者は8割以上。

家の人と学校などでの出来事について話をしているかについて、「している」「どちらかといえば、している」と答えた小学生は82.4%、中学生は81.4%、高校生は82.3%となっています。

子どもと学校などでの出来事について話をしているかについて、「話している」「どちらかといえば、話している」と答えた小学生の保護者は91.5%、中学生の保護者は85.3%となっています。

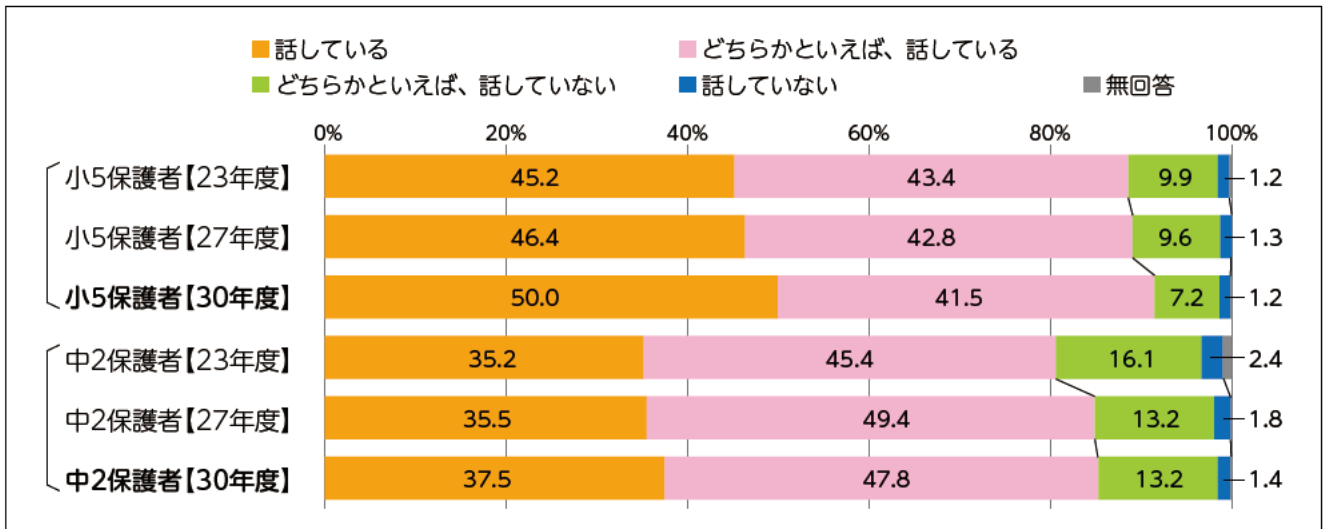
中学生は「している」と回答した割合が47.6%になっているのに対し、中学生の保護者は37.5%となっており、子どもより10.1ポイント低くなっています。

■ 図 3-1 あなたは、家の人（兄弟姉妹は含みません）と学校などでの出来事について話をしていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-2 あなたは、お子さまと学校などでの出来事について話をしていますか



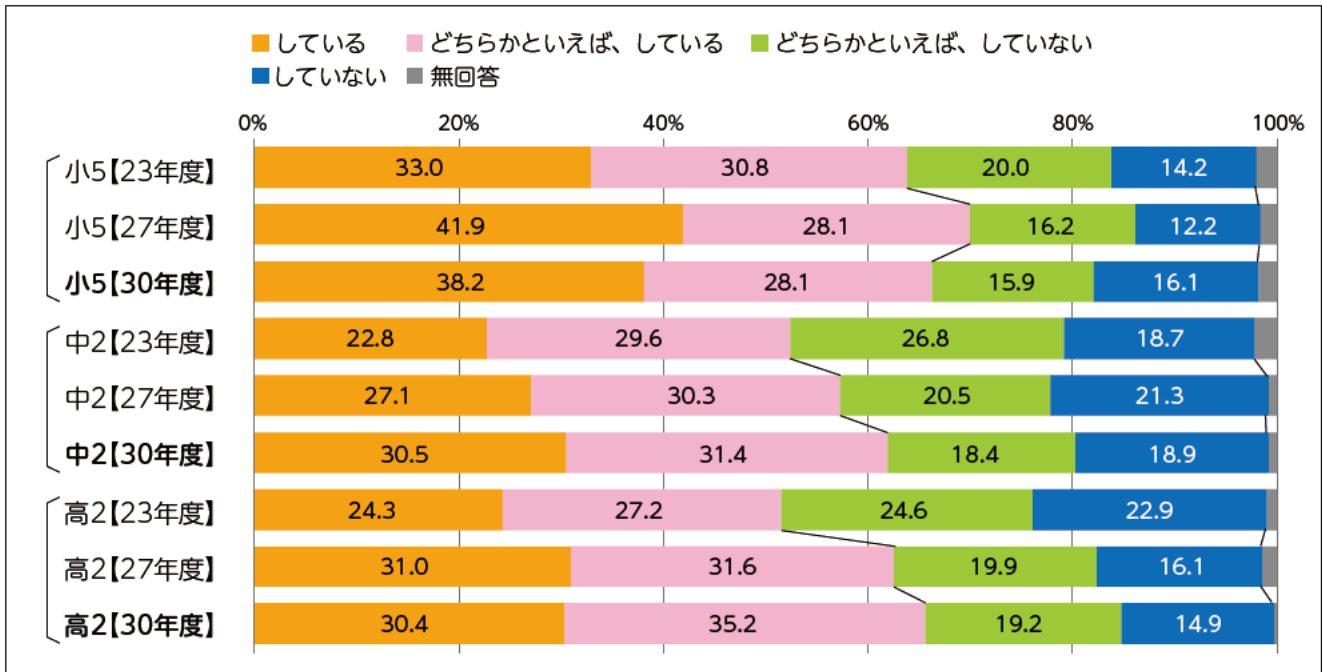
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●困ったことや悩みごとについて家の人と話をしている子どもは6割以上だが、保護者が思っているほどは相談していない。

困ったことや悩みがあったとき、家の人に話をしているかについて、「している」「どちらかといえば、している」と答えた小学生は66.3%、中学生は61.9%、高校生は65.6%となっています。

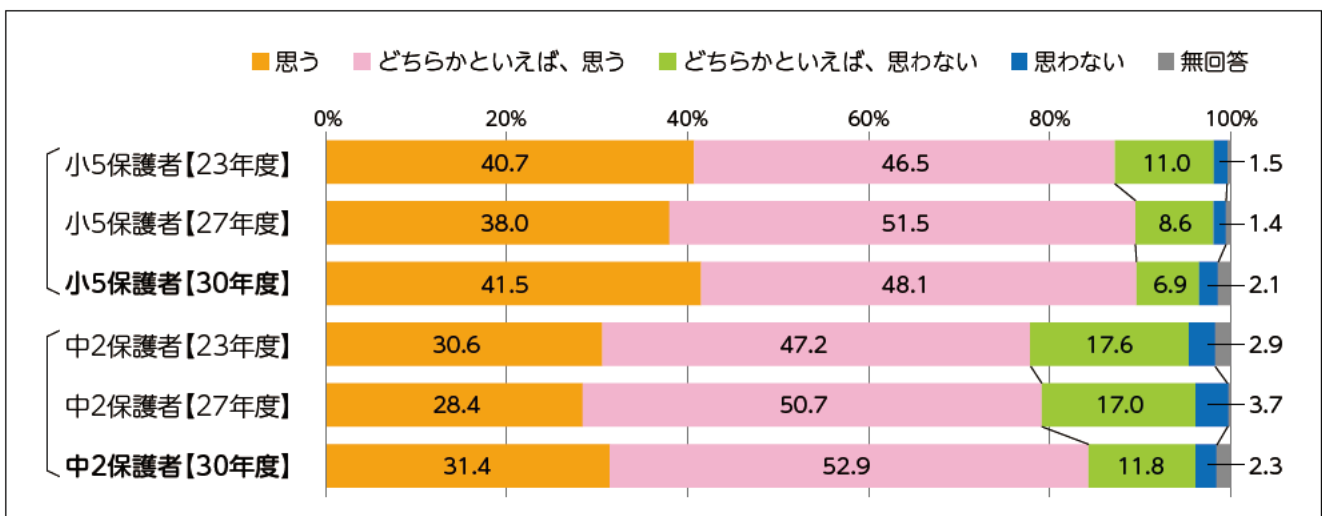
子どもが困ったことや悩みがあったとき、自身や家の人に話をしていると思うかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生の保護者は89.6%、中学生の保護者は84.3%となっており、子どもよりそれぞれ23.3ポイント、22.4ポイント高くなっています。

■ 図 3-3 あなたは、困ったことや悩みがあったとき、家の人（兄弟姉妹は含みません）に話をして
いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-4 あなたは、お子さまが困ったことや悩みがあったとき、あなたや家の人（お子さまの兄弟
姉妹は含みません）に話をしていると思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

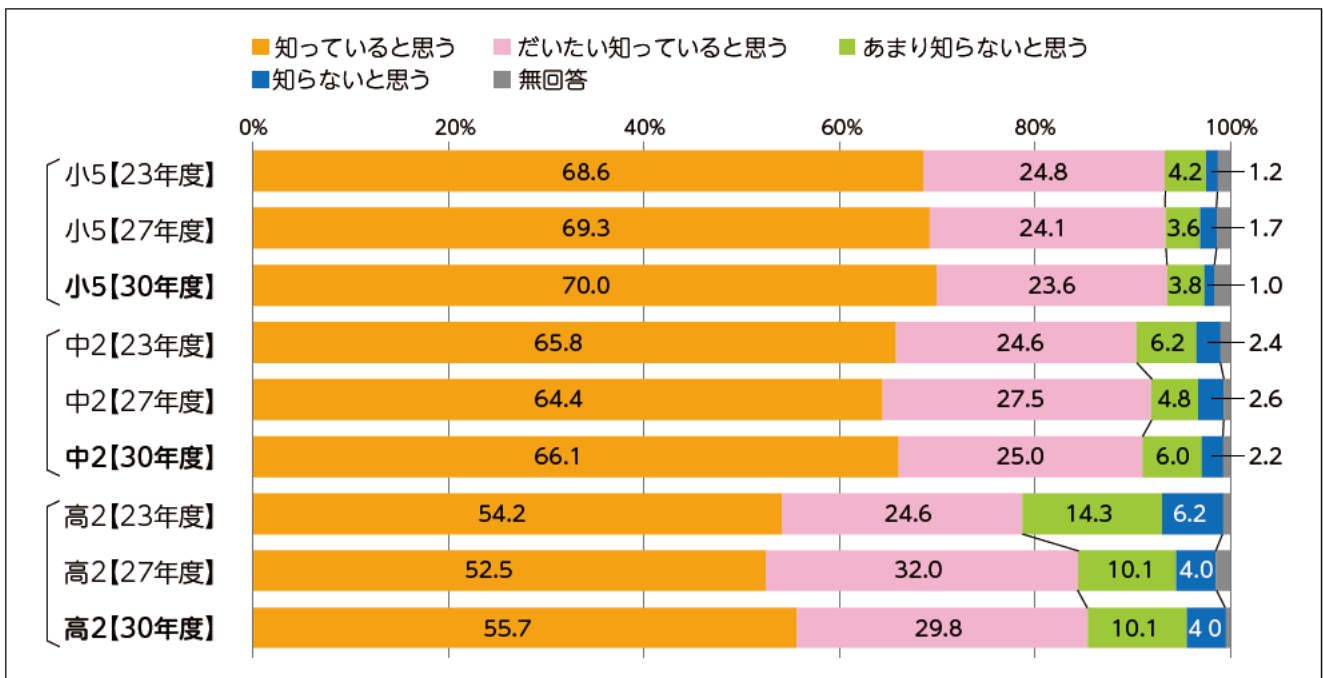
●「家の人(兄弟姉妹は含みません)が仲の良い友だちの名前を知っていると思う」小学生、中学生と、「子どもの仲の良い友だちの名前を知っている」保護者はともに9割以上。

家の人(兄弟姉妹は含みません)が仲の良い友だちの名前を知っているかについて、「知っていると思う」「だいたい知っていると思う」と答えた小学生は93.6%、中学生は91.1%、高校生は85.5%となっています。

子どもの仲の良い友だちの名前を知っているかについて、「知っている」「だいたい知っている」と答えた小学生の保護者は95.4%、中学生の保護者は92.8%となっています。

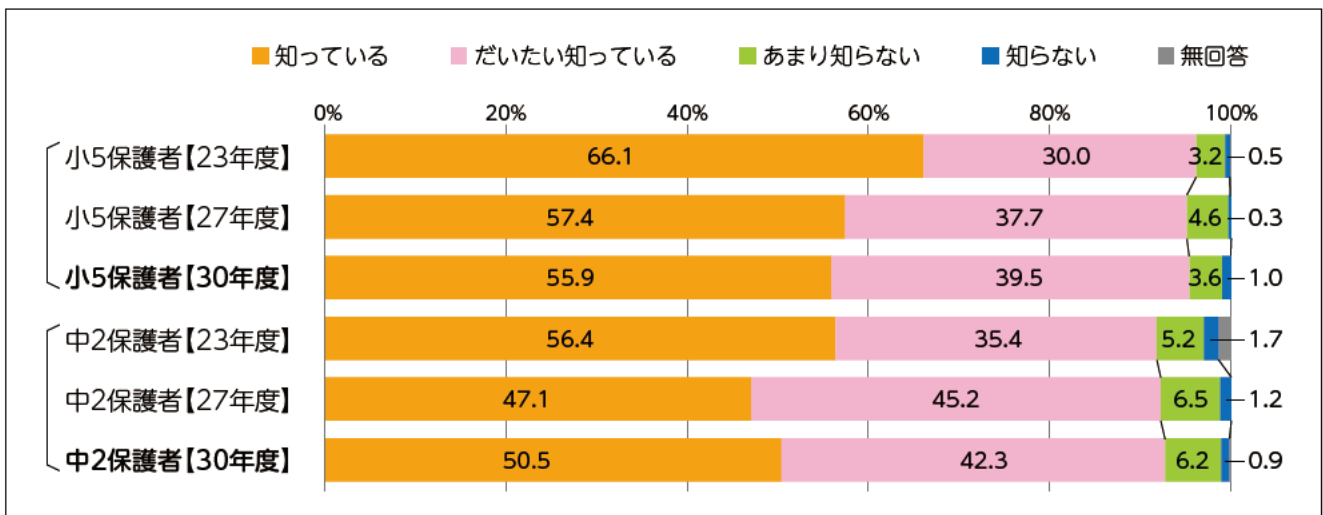
「知っていると思う」と答えた小学生が70.0%、中学生が66.1%となっているのに対し、「知っている」と答えた小学生の保護者は55.9%、中学生の保護者は50.5%となっており、子どもよりそれぞれ14.1ポイント、15.6ポイント低くなっています。

■ 図 3-5 家の人(兄弟姉妹は含みません)は、あなたの仲の良い友だちの名前を知っていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-6 あなたは、お子さまの仲の良い友だちの名前を知っていますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●子どもがいきいきと育つための保護者の役割は「心の安らぎを与える」「心身の成長を支える」「子どもの夢や希望を応援する」が高い。

子どもがいきいきと育つために担うべき役割について、小学生の保護者は「心の安らぎを与える」が79.3%と最も高く、次いで「心身の成長を支える」が77.7%、「子どもの夢や希望を応援する」が72.6%となっています。中学生の保護者は「心身の成長を支える」が77.3%と最も高く、次いで「子どもの夢や希望を応援する」が76.3%、「心の安らぎを与える」が75.0%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生、中学生の保護者ともに「気軽に相談にのる」、「事故や犯罪から守る」の割合が10ポイント以上上昇しています。また、中学生の保護者は「心身の成長を支える」、「子どもの夢や希望を応援する」の割合も10ポイント以上上昇しています。

■ 図 3-7 お子さまがいきいきと育つために、あなたはどのような役割を担うべきだと思いますか（複数回答・いくつでも）

	小学生保護者			中学生保護者		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
心の安らぎを与える	①79.3	①82.6	①79.3	①75.6	①73.3	③75.0
心身の成長を支える	②68.6	②74.6	②77.7	③65.7	③69.8	①77.3
しつけをおこなう	46.9	45.6	50.8	40.9	41.4	45.9
社会規範を教える	39.5	42.2	45.7	41.3	41.1	44.9
気軽に相談にのる	50.9	55.6	62.1	51.3	56.3	64.2
積極的に声をかける	30.4	29.2	34.7	31.2	27.5	33.8
事故や犯罪から守る	50.2	56.2	61.4	43.6	48.7	55.7
有害な情報から守る	29.3	29.7	33.5	25.8	25.7	30.3
勉強を教える	21.3	23.5	27.1	9.0	10.4	13.3
スポーツや遊びの指導や相手をする	25.2	26.2	27.7	14.9	14.5	16.7
さまざまな体験の機会を設ける	56.9	59.9	59.5	44.5	45.2	48.3
伝統や文化、風習を伝える	22.2	21.9	22.1	18.8	17.2	17.8
家庭における役割を与える	39.1	36.8	36.2	34.8	33.1	33.3
自主的な活動をうながす	45.9	45.4	44.7	42.6	42.4	47.0
子どもの夢や希望を応援する	③67.8	③72.5	③72.6	②66.1	②72.7	②76.3
その他	0.8	1.5	0.8	1.0	1.2	0.8
わからない	0.0	0.4	0.3	0.7	0.5	0.3
無回答	0.3	0.3	0.3	0.7	0.5	0.5

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●子どもがほっとする場所について、小学生、中学生の保護者は「自分の家で、家族と過ごす場所」と思う割合が8割以上だが、小学生は約6割、中学生は約5割と意識に差がある。

ほっとする場所について、小学生は「自分の家で、家族と過ごす場所」が64.1%と最も高く、次いで「自分の家で、1人で過ごせる場所」が54.9%、「おじいさんやおばあさんの家」が38.8%となっています。中学生は「自分の家で、1人で過ごせる場所」が80.7%と最も高く、次いで「自分の家で、家族と過ごす場所」が48.4%、「おじいさんやおばあさんの家」が24.1%となっています。高校生は「自分の家で、1人で過ごせる場所」が88.1%と最も高く、次いで「自分の家で、家族と過ごす場所」が41.6%、「友だちの家」が15.8%となっています。

子どもがほっとする場所について、小学生の保護者は「自分の家で、家族と過ごす場所」が92.5%と最も高く、次いで「おじいさんやおばあさんの家」が46.7%、「自分の家で、1人で過ごせる場所」が44.6%となっています。中学生の保護者は「自分の家で、家族と過ごす場所」が82.1%と最も高く、次いで「自分の家で、1人で過ごせる場所」が70.2%、「おじいさんやおばあさんの家」が33.0%となっています。

小学生、中学生ともに「自分の家で、1人で過ごせる場所」が保護者よりそれぞれ10.3ポイント、10.5ポイント高く、「自分の家で、家族と過ごす場所」が保護者よりそれぞれ28.4ポイント、33.7ポイント低くなっています。

■ 図 3-8 あなたがほっとする場所はどんなところですか（複数回答・いくつでも）

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
自分の家で、一人で過ごせる場所 ※1	—	—	②54.9	—	—	①80.7	—	—	①88.1
自分の家で、家族と過ごす場所 ※2	—	—	①64.1	—	—	②48.4	—	—	②41.6
自分の家 ※3	①83.7	①83.4	—	①85.9	①84.7	—	①84.6	①87.9	—
学校	17.2	15.5	22.0	②18.8	③20.9	22.5	③14.0	③12.7	11.9
友だちの家	③19.7	16.7	25.4	③17.5	20.5	23.8	②17.5	11.8	③15.8
おじいさんやおばあさんの家	②35.1	②37.5	③38.8	③17.5	②25.9	③24.1	12.0	②17.6	13.4
図書館	13.1	③23.7	26.9	7.8	13.5	17.3	5.9	6.9	6.5
公園	6.3	9.6	11.5	3.3	5.8	7.8	3.3	5.1	4.2
塾	2.2	4.3	5.3	1.8	5.2	5.2	0.8	1.5	2.4
児童館	1.0	1.6	4.4	0.0	0.4	1.2	0.1	0.1	0.2
習い事の教室、スポーツクラブ	8.5	8.7	14.2	3.8	5.5	7.3	2.5	2.2	2.4
フリースクール、フリースペース	0.0	0.2	1.1	0.2	0.7	1.3	0.3	0.3	0.6
コンビニエンスストア	1.5	2.5	6.2	2.2	4.0	5.6	1.6	1.7	3.1
ゲームセンター、カラオケボックス	8.6	10.2	15.9	7.1	10.4	12.1	6.6	6.1	9.7
ファーストフードの店、ファミリーレストラン	2.8	2.3	7.1	2.1	3.0	4.0	2.4	2.0	2.4
その他	5.4	6.6	5.9	5.4	8.0	4.1	6.5	7.2	3.2
特にない	1.9	4.1	2.7	2.6	4.4	2.4	2.4	4.4	2.1
無回答	5.5	0.7	0.6	4.7	0.4	0.6	4.6	1.7	0.2

※ 23年度、27年度は、回答の選択を3つまでとしていたため、比較する際には注意が必要です

※ 1、2 23年度、27年度にこの調査項目はありません ※ 3 30年度にこの調査項目はありません

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」【○番号は割合の多い順を表しています。】

■ 図 3-9 あなたは、お子さまがほっとする場所はどんなところだと思いますか
(複数回答・いくつでも)

	小学生保護者			中学生保護者		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
自分の家で、一人で過ごせる場所 ※1	—	—	③44.6	—	—	②70.2
自分の家で、家族と過ごす場所 ※2	—	—	①92.5	—	—	①82.1
自分の家 ※3	①94.2	①97.7	—	①94.1	①96.1	—
学校	③16.1	③18.2	19.5	③16.9	③19.2	19.7
友だちの家	10.3	9.2	13.8	13.6	11.2	13.7
おじいさんやおばあさんの家	②37.9	②47.6	②46.7	②26.2	②30.8	③33.0
図書館	3.4	4.8	5.3	2.2	3.1	3.8
公園	3.7	6.1	5.3	0.6	1.0	2.0
塾	1.0	0.8	2.1	2.4	3.0	2.4
児童館	0.5	0.8	1.7	0.1	0.2	0.9
習い事の教室、スポーツクラブ	9.8	9.7	11.2	8.3	6.0	8.2
フリースクール、フリースペース	0.0	0.0	0.2	0.4	0.1	0.2
コンビニエンスストア	0.0	0.3	0.4	0.2	0.5	1.1
ゲームセンター、カラオケボックス	1.8	2.2	1.7	1.4	2.1	2.5
ファーストフードの店、ファミリーレストラン	0.8	0.9	1.0	0.9	0.6	1.1
その他	1.4	2.5	1.7	3.1	2.1	2.0
特にない	0.0	0.1	0.0	0.3	0.7	0.1
わからない	0.2	0.6	0.4	0.6	1.0	0.7
無回答	3.3	0.4	0.2	2.6	0.3	0.3

※ 23年度、27年度は、回答の選択を3つまでとしていたため、比較するには注意が必要です

※ 1、2 23年度、27年度にこの調査項目はありません ※ 3 30年度にこの調査項目はありません

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

2 大人の理解・姿勢

●保護者の子どもに関する不安や悩みは「子どもの成績や進学」が最も高い。

子どもに関する不安や悩みについて、小学生の保護者は「子どもの成績や進学」が39.5%で最も高く、次いで「子どもの育て方やしつけ」が37.3%、「子どもの友だち関係」が31.1%となっています。中学生の保護者は「子どもの成績や進学」が64.9%で最も高く、次いで「子どもの育て方やしつけ」が28.8%、「子どもの生活態度」が28.5%となっています。

■ 図 3-10 あなたは、今、お子さまについてどのような不安や悩みがありますか
(複数回答・いくつでも)

	小学生保護者			中学生保護者		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
子どもの健康	24.3	24.8	20.4	20.8	24.3	20.1
子どもの成績や進学	①42.8	①47.1	①39.5	①73.9	①69.2	①64.9
子どもの友だち関係	③36.1	②42.8	③31.1	②28.2	②34.8	27.5
子どもの生活態度	26.5	24.8	26.5	23.7	27.0	③28.5
子どもの就職	11.1	7.9	6.3	18.5	13.2	12.3
子どもの育て方やしつけ	②41.8	③41.2	②37.3	③25.6	③28.3	②28.8
子どもとあなたとの関係 ※	—	6.8	8.1	—	5.8	7.6
子どもと配偶者との関係	4.8	4.1	5.6	3.5	4.9	5.2
子どもと先生との関係	4.7	8.0	6.2	7.3	6.1	7.1
教育費	17.7	21.7	19.7	20.2	21.4	24.3
その他	1.9	2.3	2.3	1.3	1.9	1.3
特に悩みはない	15.3	14.8	18.0	9.0	9.7	12.7
無回答	0.6	0.5	0.8	1.4	0.2	0.5

※ 23年度にこの調査項目はありません

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」〔○番号は割合の多い順を表しています。〕

●ふだんの生活のなかで大切にされていると感じる子どもの割合は、保護者が自分の子どもについてそのように感じる割合より低い。

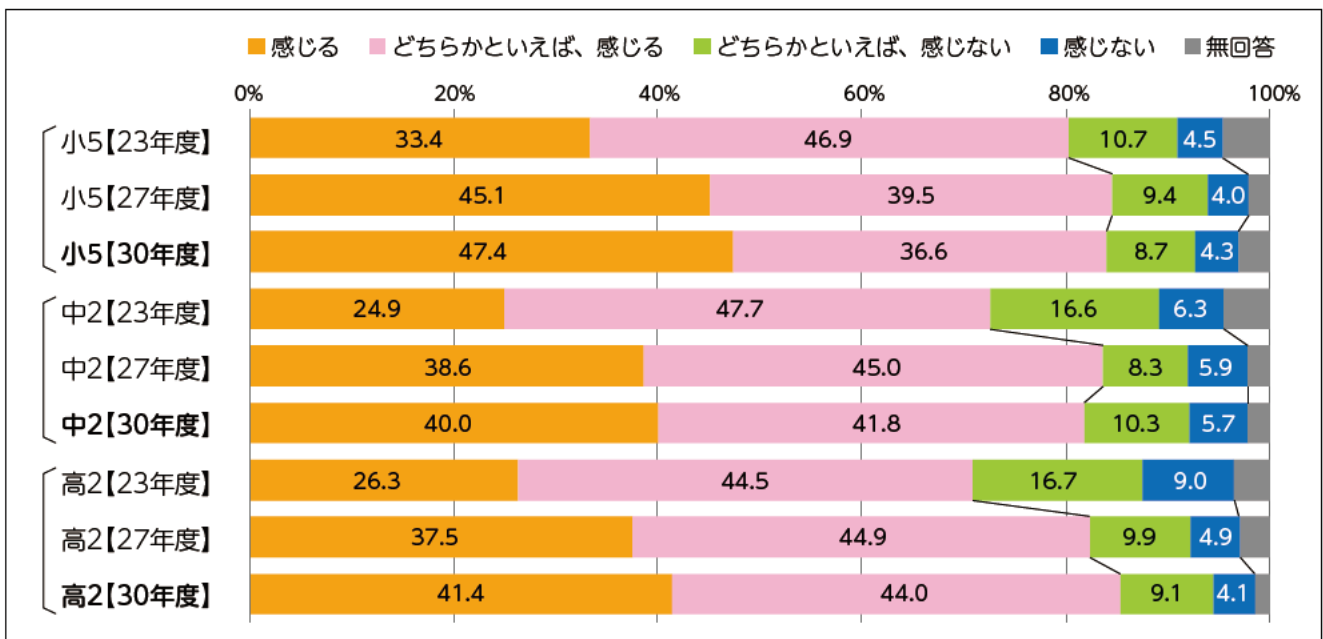
家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、大切にされていると感じるかについて、「感じる」「どちらかといえば、感じる」と答えた小学生は84.0%、中学生は81.8%、高校生は85.4%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生、中学生、高校生ともに「感じる」が10ポイント以上上昇しています。

自分の子どもが家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、大切にされていると感じるかについて、「感じる」「どちらかといえば、感じる」と答えた小学生の保護者は96.2%、中学生の保護者は94.5%となっています。

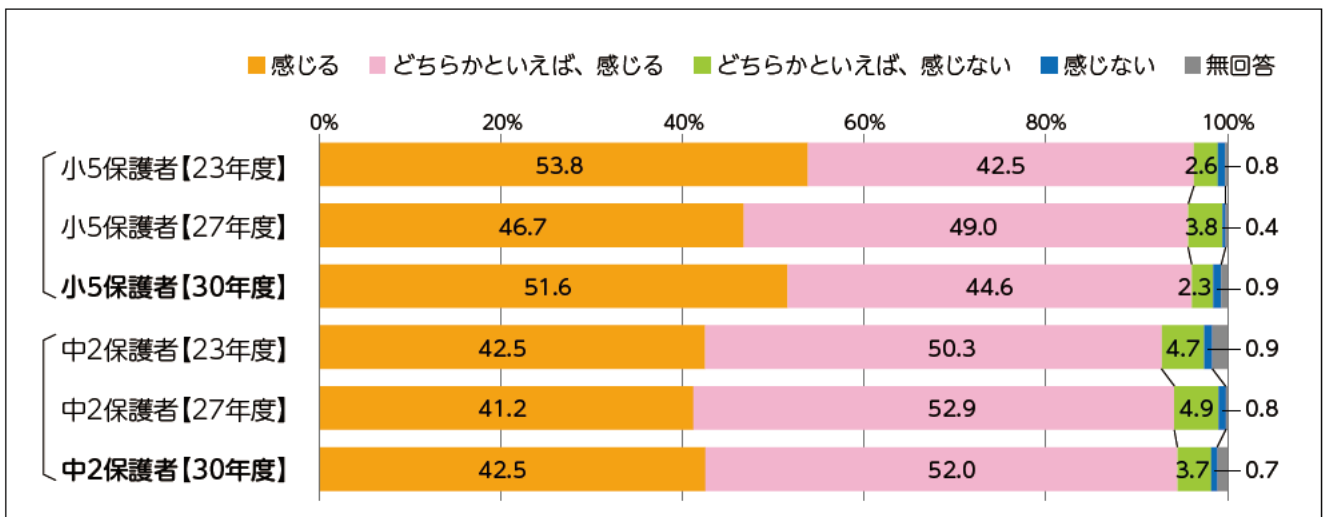
小学生、中学生ともに、「感じる」「どちらかといえば、感じる」の割合が保護者よりそれぞれ12.2ポイント、12.7ポイント低くなっています。

■ 図 3-11 あなたは、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-12 あなたは、あなたのお子さまが、家庭や地域、学校などふだん生活しているなかで、「大切にされている」と感じますか

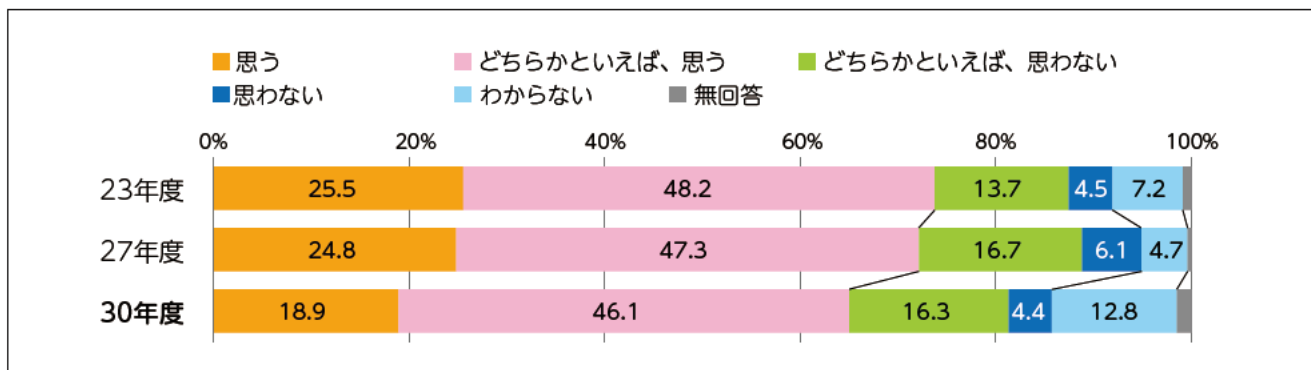


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思う県民の割合は減少している。

今の社会のなかで、子どもたちが大切にされているかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた県民は65.0%となっています。

■ 図 3-13 あなたは、今の社会のなかで、子どもたちが大切にされていると思いますか



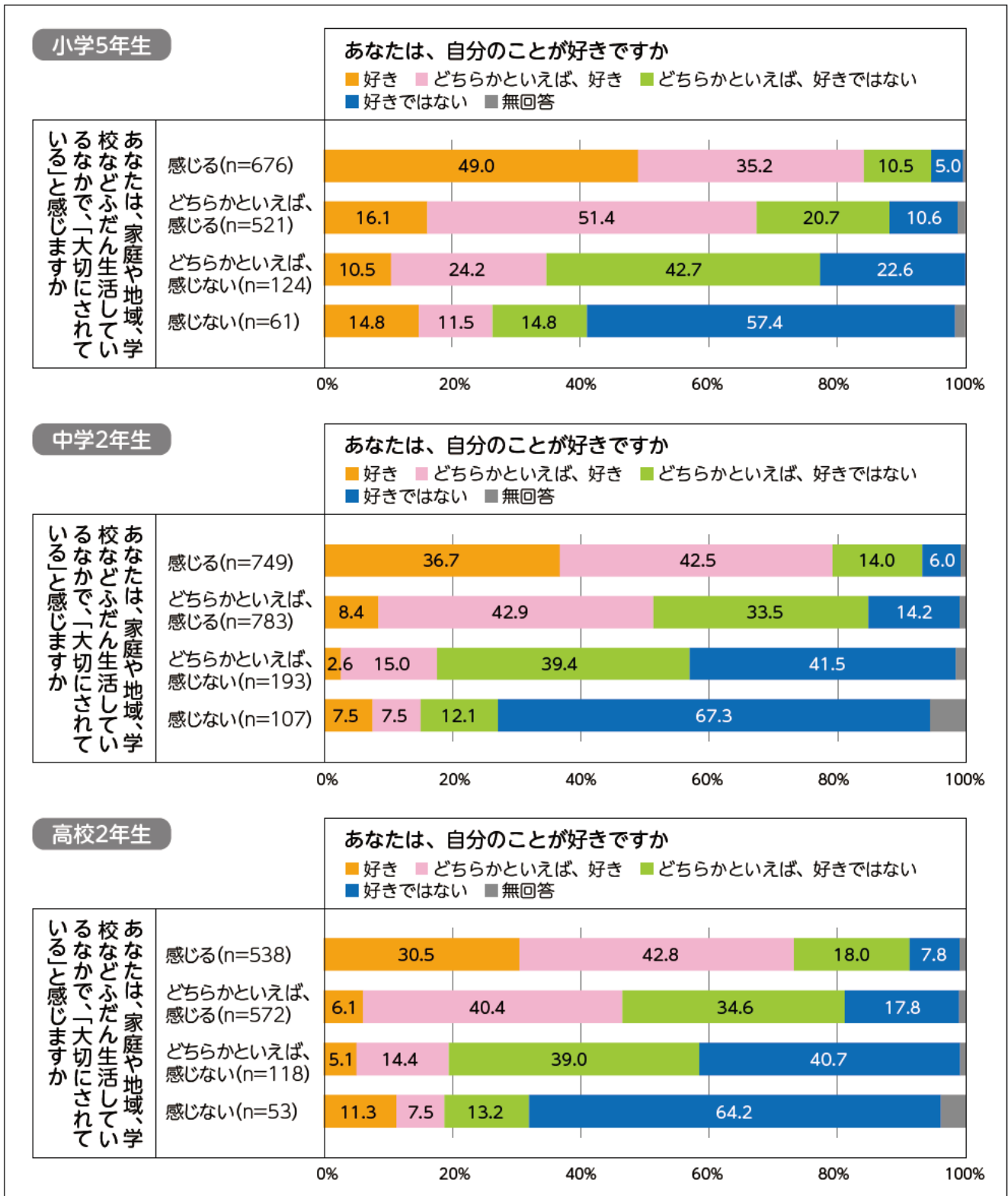
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

●ふだんの生活のなかで大切にされていると感じる子どもは、大切にされていると感じない子どもより自分のことが好きな割合が高い。

「ふだんの生活のなかで、大切にされていると感じる」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生とも大切にされていると「感じる」と答えた子どもは「感じない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」の割合が高くなっています。

また、「感じない」と答えた子どもで、自分のことが「好きではない」と答えた小学生は57.4%、中学生は67.3%、高校生は64.2%となっており、いずれも過半数となっています。

■ 図 3-14 「ふだんの生活のなかで、大切にされていると感じる」と「自分のことが好き」の関係



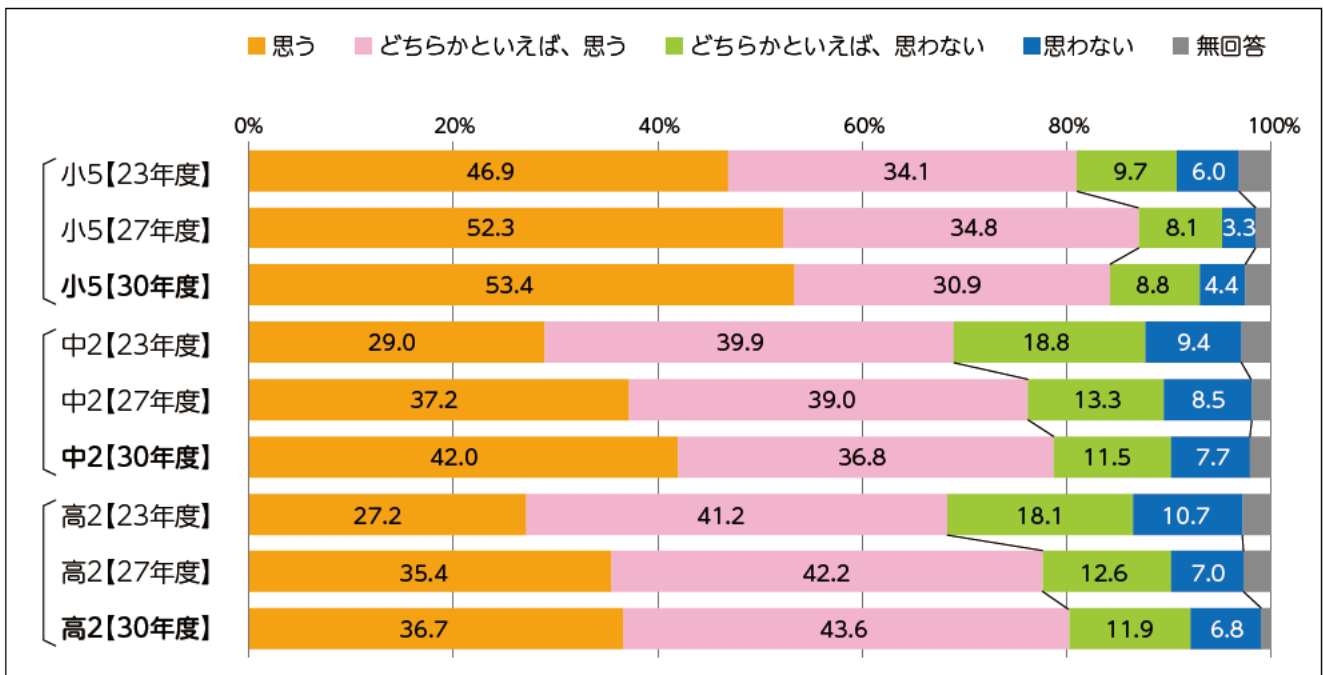
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●親などが自分のことをわかっていると思う子どもの割合は、子どもを理解していると思う保護者の割合より低い。

親（保護者）などの大人が自分のことをわかっていると思うかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生は84.3%、中学生は78.8%、高校生は80.3%となっています。平成23年度と比較すると、中学生は9.9ポイント、高校生は11.9ポイント上昇しています。

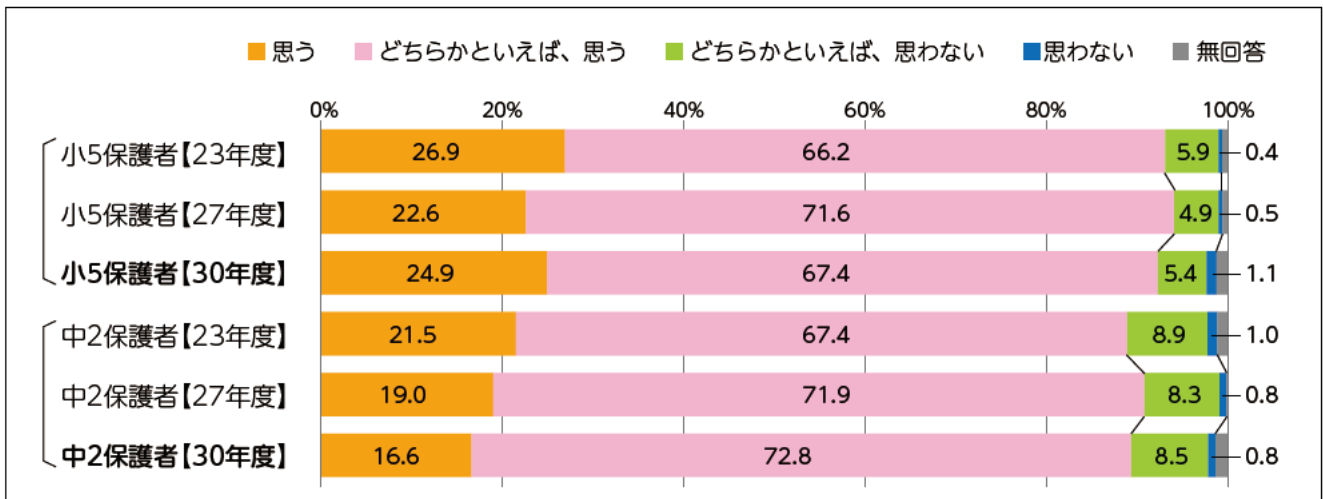
子どものことを理解していると思うかについて、「思う」「どちらかといえば、思う」と答えた小学生の保護者は92.3%、中学生の保護者は89.4%となっており、それぞれ子どもより高くなっています。一方で、「思う」と答えた小学生の保護者は24.9%、中学生の保護者は16.6%で、子どもよりそれぞれ28.5ポイント、25.4ポイント低くなっています。

■ 図 3-15 あなたは、親（保護者）などの大人は、「自分のことをわかっている」と思いますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-16 あなたは、お子さまのことを理解していると思いますか

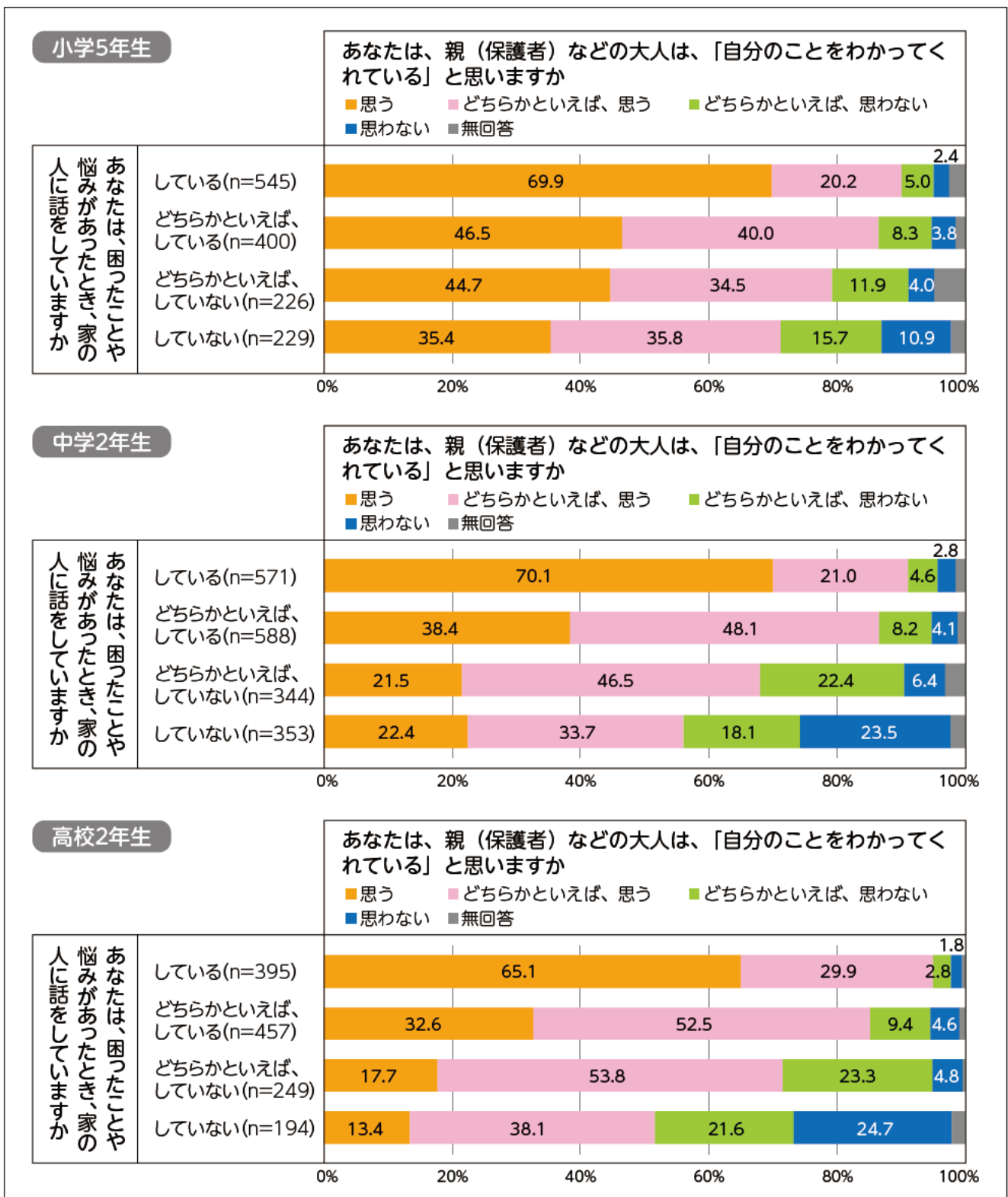


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●悩み等を家の人に話をする事と、親などが自分のことをわかってくれていると思うことには関係性がみられる。

「困ったことや悩みがあったとき、家の人に話をしている」と「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」の関係について、小学生、中学生、高校生とも、話をしていると答えた子どもは話をしていないと答えた子どもより、親などの大人が自分のことをわかってくれていると「思う」「どちらかといえば、思う」の割合が高くなっています。

■ 図 3-17 「困ったことや悩みがあったとき、家の人に話をしている」と「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」の関係

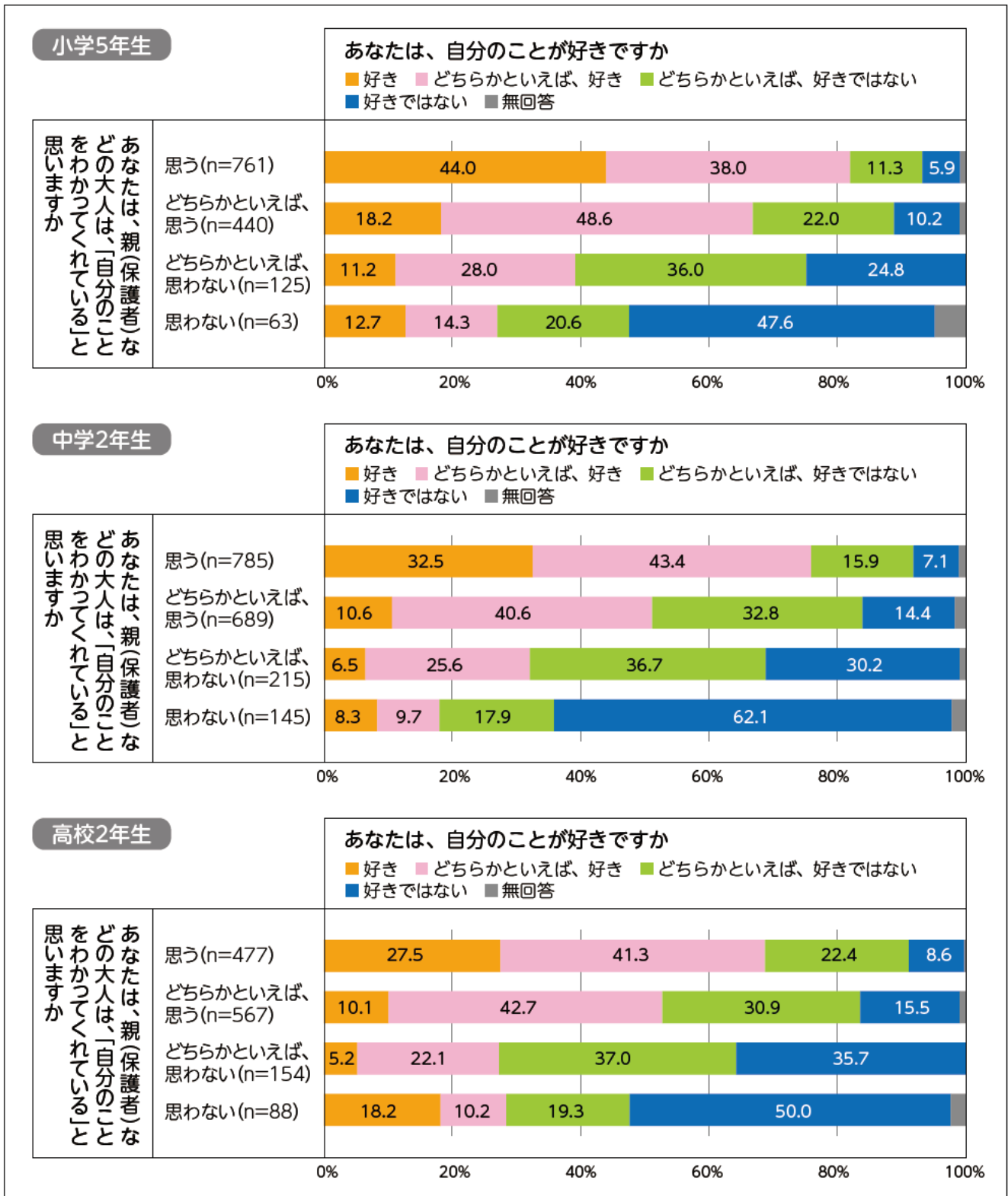


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●親などが自分のことをわかってくれていると思う子どものほうが、自分のことが好きと答える割合が高い。

「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生とも、親などの大人は自分のことをわかってくれていると「思う」と答えた子どもは、親などの大人は自分のことをわかってくれていると「思わない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」の割合が高くなっています。

■ 図 3-18 「親（保護者）などの大人は自分のことをわかってくれていると思う」と「自分のことが好き」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

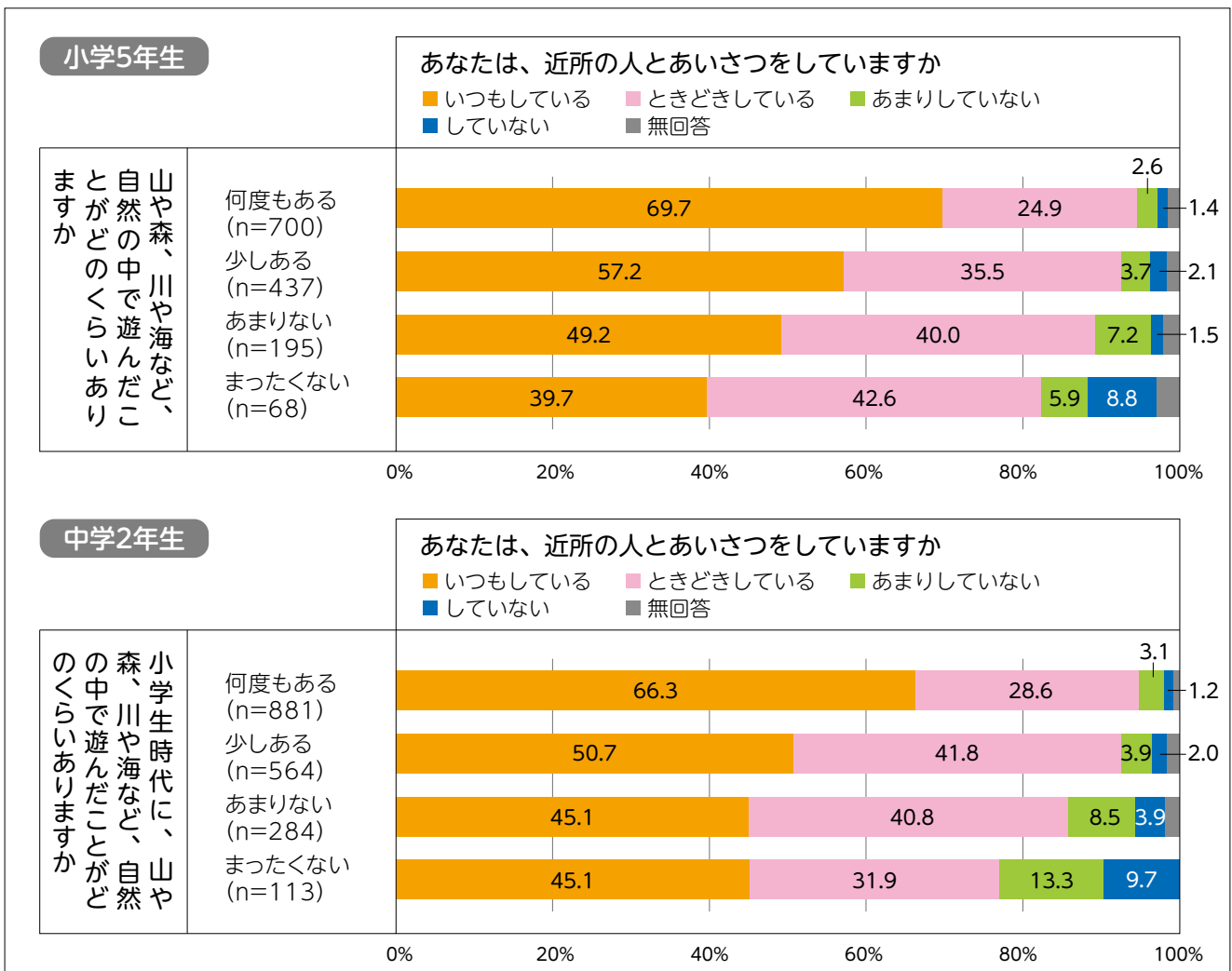
3 体験

● **小さいころに自然の中で遊んだことが多い子どもは、経験が少ない子どもより近所の人とあいさつをしている割合が高い。**

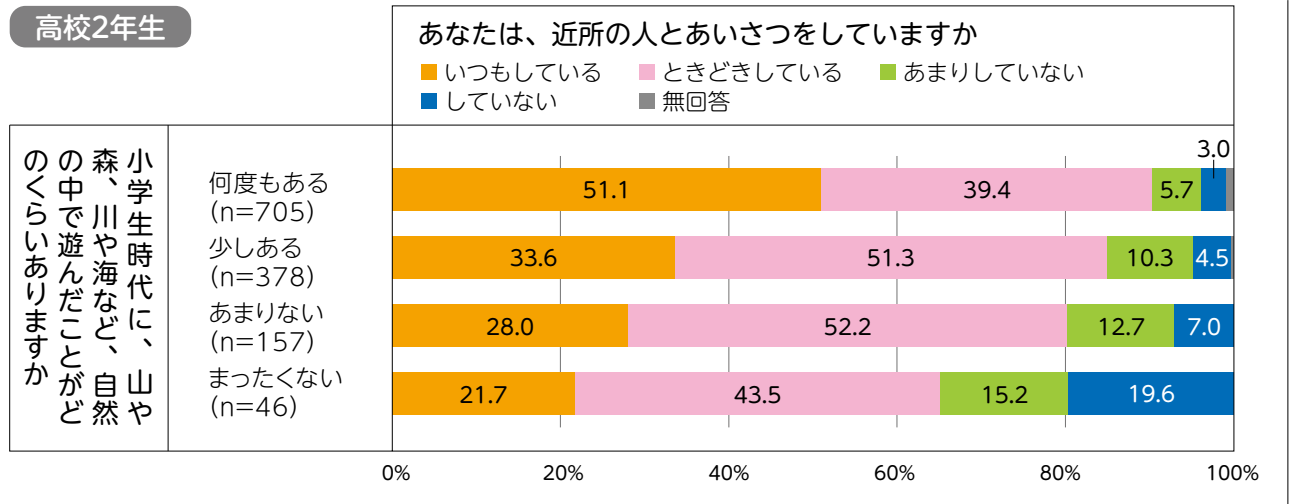
「小学生時代に、自然の中で遊んだことがある」と「近所の人とあいさつをしている」の関係について、小学生、中学生、高校生とも小学生時代に、自然の中で遊んだことが「何度もある」と答えた子どもは「まったくない」と答えた子どもより、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」「ときどきしている」の割合が高くなっています。

小学生時代に、自然の中で遊んだことが「何度もある」と答えた子どもで、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生ともに90%以上であれば同率となっていますが、自然の中で遊んだことが「まったくない」と答えた子どもで、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっています。

■ 図 3-19 「小学生時代に、自然の中で遊んだことがある」と「近所の人とあいさつをしている」の関係



高校2年生

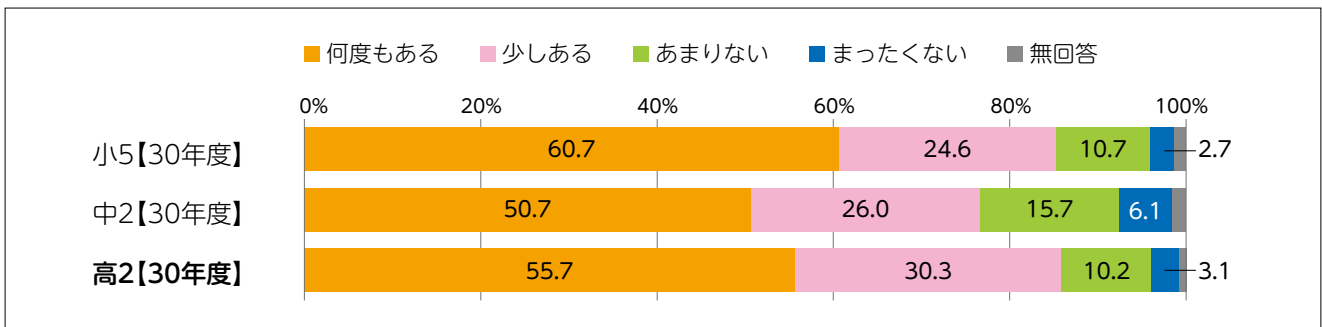


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

● **小さいころに、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことがある子どもは7割以上。**

小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことがあるかについて、「何度もある」「少しある」と答えた小学生は85.3%、中学生は76.7%、高校生は86.0%となっています。

■ **図 3-20 あなたは、小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことがありますか**

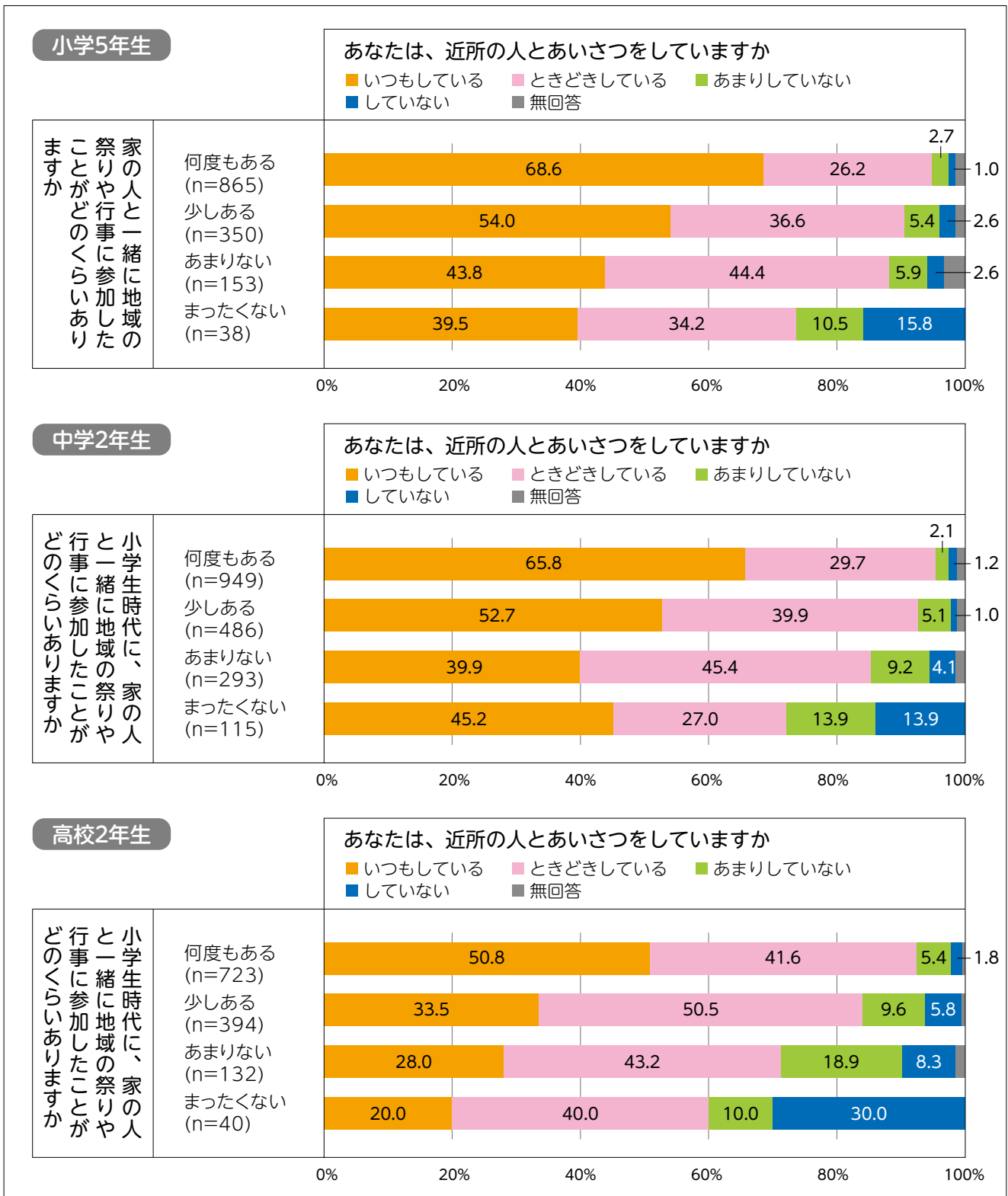


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●小さいころに、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加した経験が多い子どもは、経験が少ない子どもより近所の人とあいさつをしている割合が高い。

「小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「近所の人とあいさつをしている」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したことが「何度もある」と答えた子どもは「まったくない」と答えた子どもより、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」の割合が高くなっています。

■ 図 3-21 「小学生時代に、家の人と一緒に地域の祭りや行事に参加したこと」と「近所の人とあいさつをしている」の関係



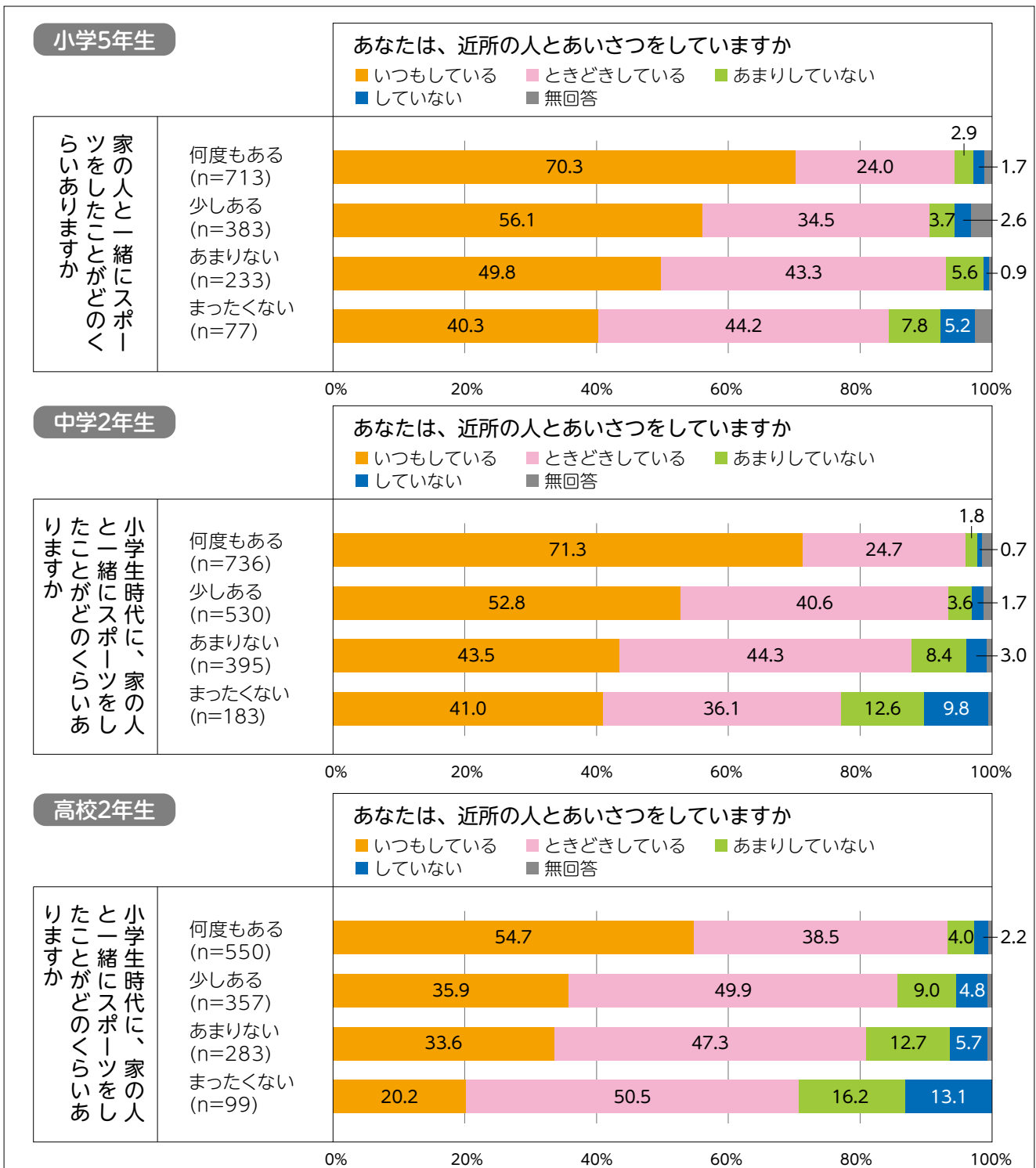
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●小さいころに、家の人と一緒にスポーツをした経験が多い子どもは、経験が少ない子どもより近所の人とあいさつをしている割合が高い。

「小学生時代に、家の人と一緒にスポーツをしたこと」と「近所の人とあいさつをしている」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに家の人と一緒にスポーツをしたことが「何度もある」と答えた子どもは「まったくない」と答えた子どもより、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」「ときどきしている」の割合が高くなっています。

小学生時代に、家の人と一緒にスポーツをしたことが「何度もある」と答えた子どもで、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生ともに90%以上とほぼ同率となっていますが、家の人と一緒にスポーツをしたことが「まったくない」と答えた子どもで、近所の人とあいさつを「いつもしている」「ときどきしている」と答えた割合は、小学生、中学生、高校生と上がるにつれて低くなっています。

■ 図 3-22 「小学生時代、家の人と一緒にスポーツをしたこと」と「近所の人とあいさつをしている」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

4 子どもの自己決定

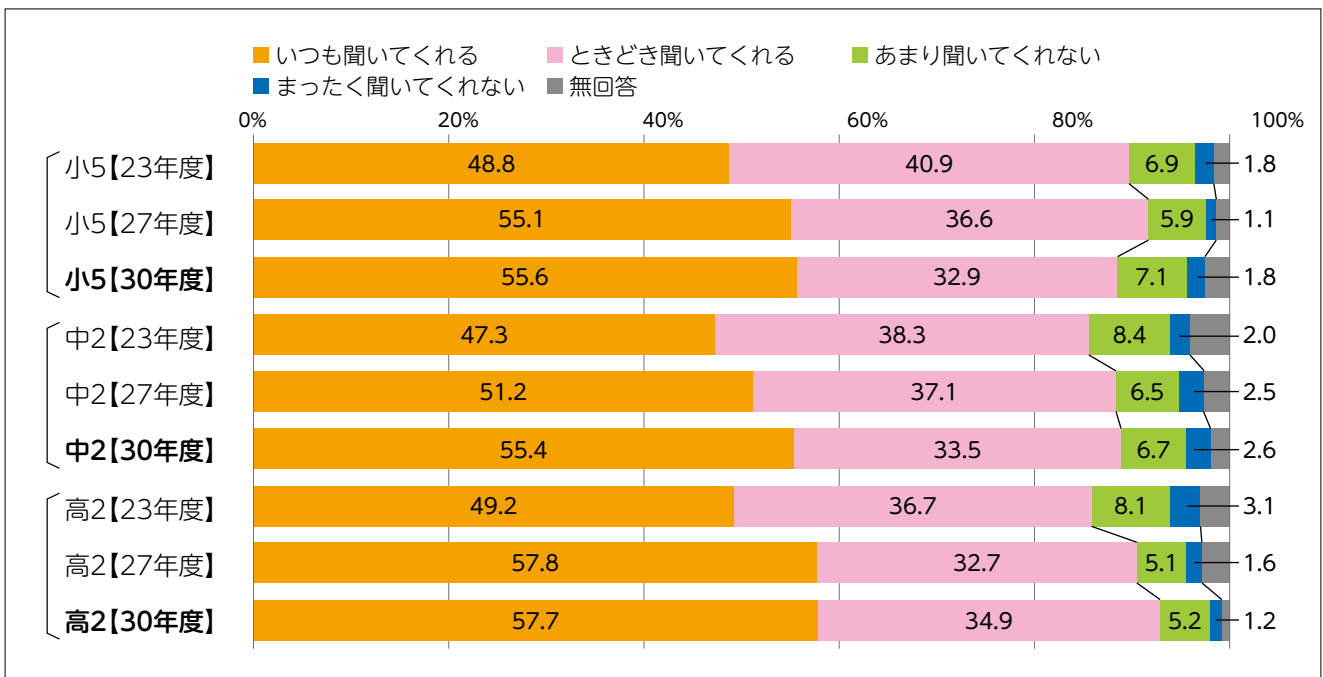
●自分のことを決めるときに親などが意見を聞いてくれると答えた子どもの割合は、子どものことを決めるときに子どもの意見を聞いていると答えた保護者の割合より低い。

自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人は意見をきいてくれるかについて、「いつも聞いてくれる」「ときどき聞いてくれる」と答えた小学生は88.5%、中学生は88.9%、高校生は92.6%となっています。

子どものことを決めるとき、子どもの意見を聞いているかについて、「いつも聞いている」「ときどき聞いている」と答えた小学生の保護者は97.9%、中学生の保護者は98.0%となっています。

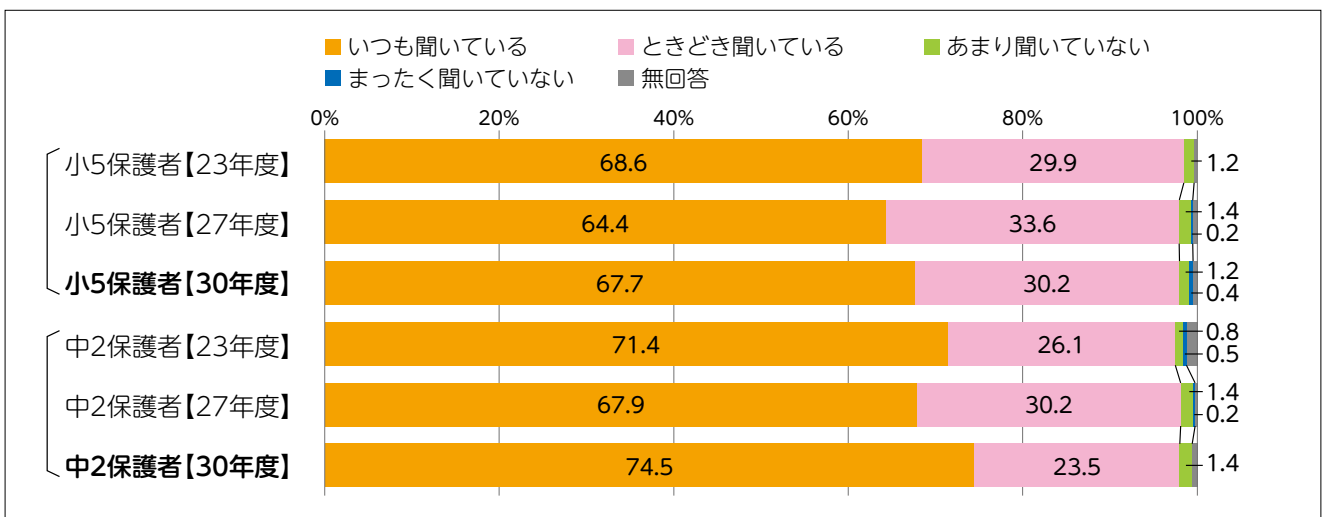
「いつも聞いてくれる」と答えた小学生は55.6%、中学生は55.4%となっており、それぞれ保護者より12.1ポイント、19.1ポイント低くなっています。

■ 図 3-23 あなたが自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人は、あなたの意見を聞いてくれますか



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

■ 図 3-24 あなたは、お子さまのことを決めるとき、お子さまの意見を聞いていますか

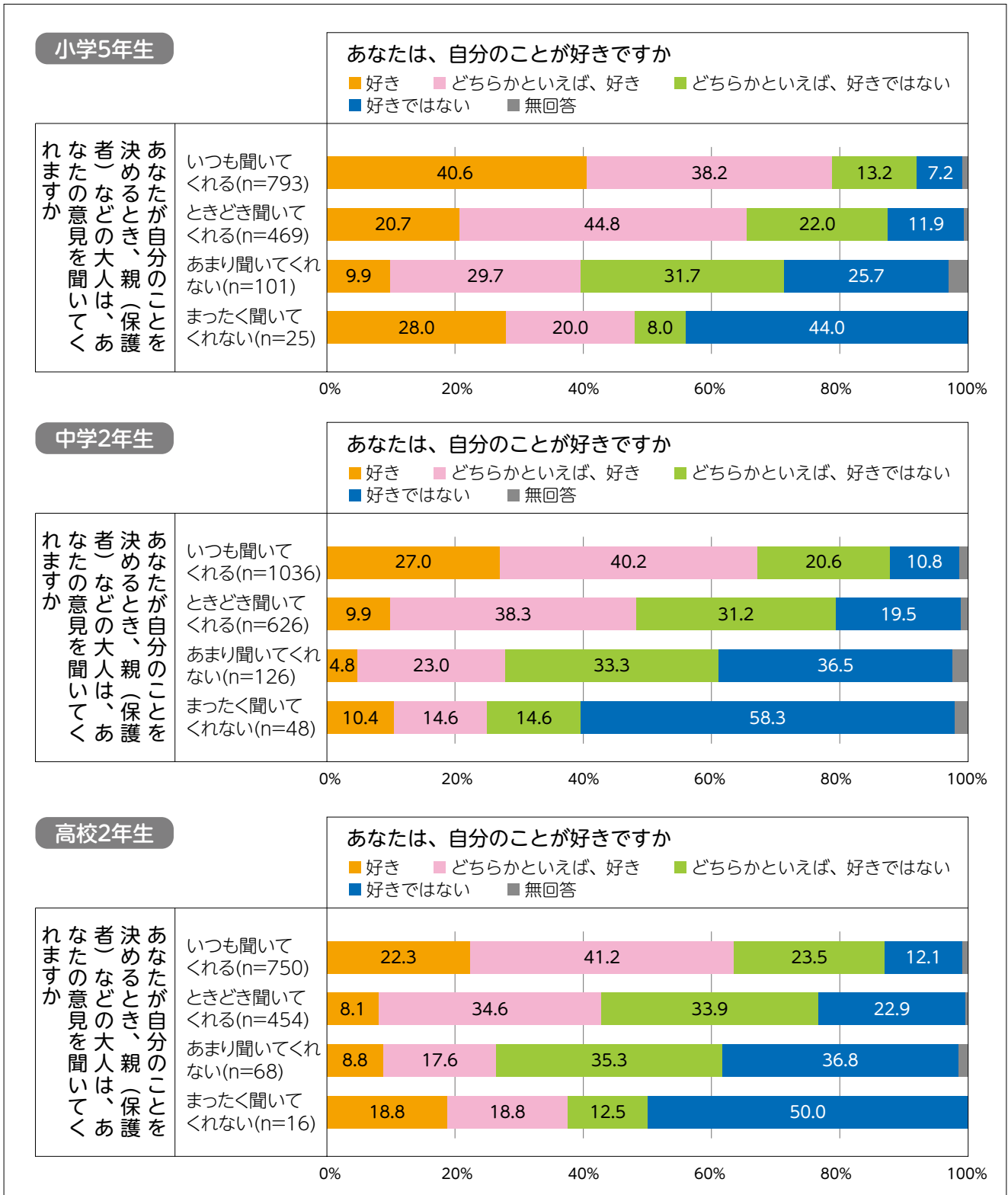


資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

●自分のことを決めるときに大人が意見を聞いてくれないと答えた子どもは、聞いてくれると答えた子どもより、自分のことが好きではない割合が高い。

「自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人が意見を聞いてくれる」と「自分のことが好き」の関係について、小学生、中学生、高校生ともに大人が意見を「いつも聞いてくれる」と答えた子どもは「まったく聞いてくれない」と答えた子どもより、自分のことが「好き」「どちらかといえば、好き」と答えた割合が高くなっています。

■ 図 3-25 「自分のことを決めるとき、親（保護者）などの大人が意見を聞いてくれる」と「自分のことが好き」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」

●自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいことは、小学生は習いごとや服そう、中学生はテレビ、ゲーム、高校生は服そう。

自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいことについて、小学生は「習いごと」が44.1%で最も高く、次いで「服そう」が44.1%、「テレビ、ゲーム」が42.0%となっています。中学生は「テレビ、ゲーム」が49.9%で最も高く、次いで「服そう」が49.3%、「寝る時間」が46.7%、高校生は「服そう」が52.0%で最も高く、次いで「進学したい学校」50.9%、「趣味の活動」が48.3%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生は「服そう」、中学生は「習いごと」、「テレビ、ゲーム」、「携帯電話、スマートフォンを持つこと」、「趣味の活動」、「祭りなどの地域の行事」、高校生は「テレビ、ゲーム」、「進学したい学校」、「クラブ活動（部活動）」がそれぞれ10%ポイント以上上昇しています。

■ 図 3-26 あなたは、どのようなことについて自分で決めたり、自分の意見を聞き入れてほしいと思いますか（複数回答・いくつでも）

	小学5年生			中学2年生			高校2年生		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
服そう	32.9	②36.4	②44.1	①45.8	①47.6	②49.3	②47.1	①47.6	①52.0
習いごと	②37.3	①42.6	①44.1	18.8	31.3	30.5	11.3	14.2	19.9
塾	13.6	11.7	14.2	16.5	22.3	20.5	8.8	9.9	15.6
家に帰る時間	18.8	21.0	25.5	25.4	30.2	31.3	33.2	32.3	37.3
テレビ、ゲーム	①38.8	③35.4	③42.0	34.0	42.6	①49.9	28.8	27.7	40.5
寝る時間	③35.6	29.4	32.5	③38.2	40.7	③46.7	38.8	35.6	44.6
進学したい学校	19.2	18.6	26.3	36.1	40.2	42.0	36.1	②43.7	②50.9
クラブ活動（部活動）※1	20.4	15.7	24.2	37.2	②43.3	42.1	26.9	35.4	39.2
アルバイト	11.8	7.8	11.4	16.7	16.2	18.3	26.4	20.5	28.9
就職先	19.6	12.4	18.1	22.6	23.4	24.6	28.1	30.3	36.2
付き合い友だち	30.7	21.0	29.5	②42.0	③43.1	44.3	①50.2	③40.5	47.3
携帯電話・スマートフォンを持つこと	27.7	31.4	33.4	30.7	39.2	40.9	25.6	27.4	35.3
趣味の活動	22.5	21.8	26.9	30.7	38.8	42.0	③40.3	38.8	③48.3
学校のきまり	10.6	8.4	10.4	10.5	10.0	10.8	12.8	7.1	12.5
祭りなどの地域の行事	11.9	20.1	19.5	8.7	23.2	21.9	7.7	14.5	15.5
地域の児童館や公園などの施設の使い方 ※2	2.8	4.0	—	2.0	2.8	—	2.4	3.2	—
子どもにかかわる社会の決まり（ルールなど）※3	3.7	5.7	7.6	2.7	5.2	6.9	3.8	3.4	7.9
その他	3.2	1.8	2.3	1.3	2.0	1.8	2.8	1.6	1.6
自分で決めたいと思うことはない	5.0	5.4	6.2	4.3	4.0	5.2	2.7	3.9	4.8
無回答	3.7	2.9	3.1	4.7	2.5	2.2	5.9	3.7	1.8

※1 23年度、27年度は「部活動」 ※2 30年度にこの調査項目はありません

※3 23年度、27年度は「子どもにかかわる社会の決まりなどの重要なこと」

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・子ども調査」【○番号は割合の多い順を表しています】

●保護者が子どもに決めさせたり、子どもの意見を尊重したりしたいことは、小学生の保護者は習いごとや服そう、中学生の保護者はクラブ活動（部活動）、進学したい学校。

子どもに決めさせたり、子どもの意見を尊重したりしたいことについて、小学生の保護者は「習いごと」が68.6%で最も高く、次いで「服そう」が65.6%、「付き合う友だち」が58.4%となっています。中学生の保護者は「クラブ活動（部活動）」が69.5%と最も高く、次いで「進学したい学校」が66.0%、「服そう」が64.9%となっています。

平成23年度と比較すると、小学生の保護者は「服そう」、「習いごと」、「テレビ、ゲーム」がそれぞれ10ポイント以上上昇しています。また、平成23年度に1位だった「付き合う友だち」が平成30年度は3位となっています。中学生の保護者は「習いごと」、「テレビ、ゲーム」、「祭りなどの地域の行事」がそれぞれ10ポイント以上上昇しています。

■ 図 3-27 あなたは、どのようなことについてお子さまに決めさせたり、お子さまの意見を尊重したりしたいと思いますか（複数回答・いくつでも）

	小学生保護者			中学生保護者		
	23年度	27年度	30年度	23年度	27年度	30年度
服そう	③54.8	①64.4	②65.6	59.4	③63.0	③64.9
習いごと	②56.3	③61.9	①68.6	39.0	38.5	49.3
塾	23.6	20.6	26.7	29.9	28.1	38.0
家に帰る時間	6.6	8.3	12.8	9.3	10.3	16.3
テレビ、ゲーム	11.8	16.3	26.4	13.5	18.4	26.5
寝る時間	8.9	8.8	14.6	17.6	20.5	23.1
進学したい学校	52.2	52.0	44.6	①68.9	①65.1	②66.0
クラブ活動（部活動）※1	52.7	49.9	47.0	②66.9	②64.4	①69.5
アルバイト	15.3	12.8	13.6	12.5	9.7	14.1
就職先	29.5	31.4	27.6	28.2	29.2	31.6
付き合う友だち	①64.5	②62.1	③58.4	③60.8	62.1	60.1
携帯電話・スマートフォンを持つこと	4.1	3.4	7.2	8.6	11.3	17.9
趣味の活動	41.8	48.1	41.1	35.4	40.1	41.3
学校のきまり	8.6	9.5	11.7	10.6	9.9	13.6
祭りなどの地域の行事	20.2	25.5	26.6	16.5	26.1	27.1
地域の児童館や公園などの施設の使い方 ※2	5.8	6.5	—	4.1	5.3	—
子どもにかかわる社会の決まり（ルールなど） ※3	6.8	9.5	15.6	9.4	8.8	17.2
その他	0.8	0.7	0.9	1.4	0.9	0.5
自分で決めさせようと思うことはない	0.0	0.1	0.3	0.3	0.6	0.1
無回答	1.0	0.9	0.7	1.5	0.6	0.9

※1 23年度、27年度は「部活動」 ※2 30年度にこの調査項目はありません

※3 23年度、27年度は「子どもにかかわる社会の決まりなどの重要なこと」

資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」【○番号は割合の多い順を表しています。】

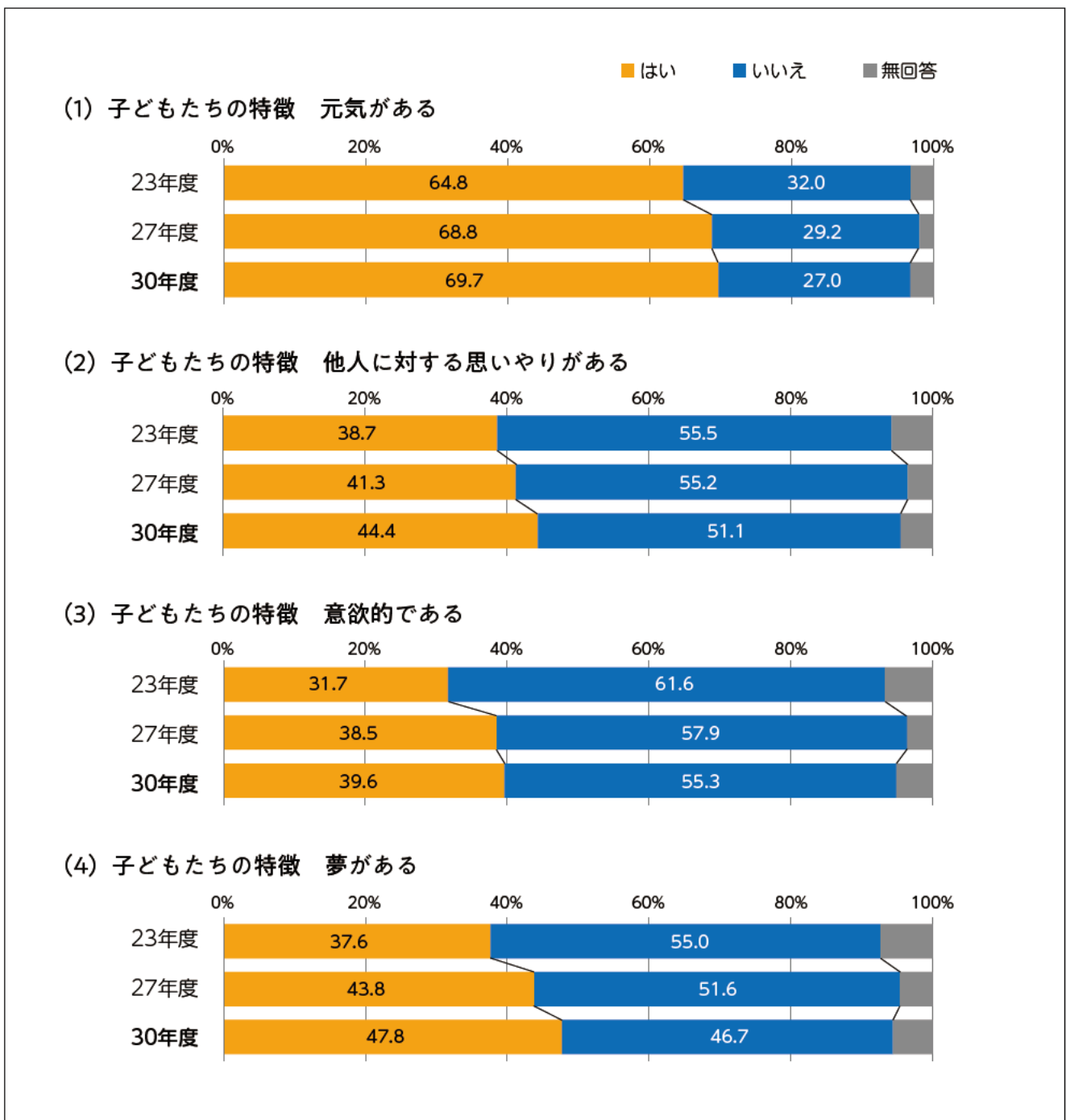
●今の子どもの特徴について、「元気がある」、「個性がある」は6割以上。「忍耐力がある」、「社会に関心がある」は3割未満。

今の子どもたちの特徴について、「元気がある」と答えた県民は69.7%、「夢がある」は47.8%、「誠実である」は49.1%、「個性がある」は64.9%となっており、肯定的な割合が高くなっています。

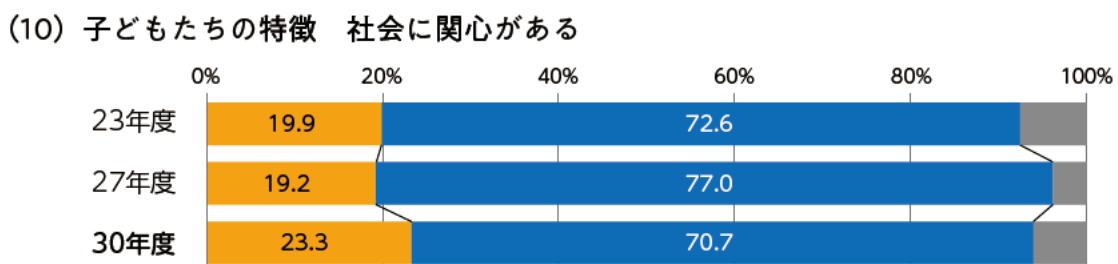
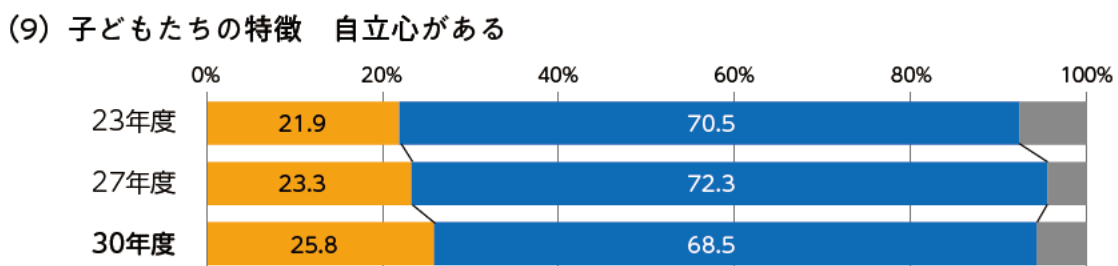
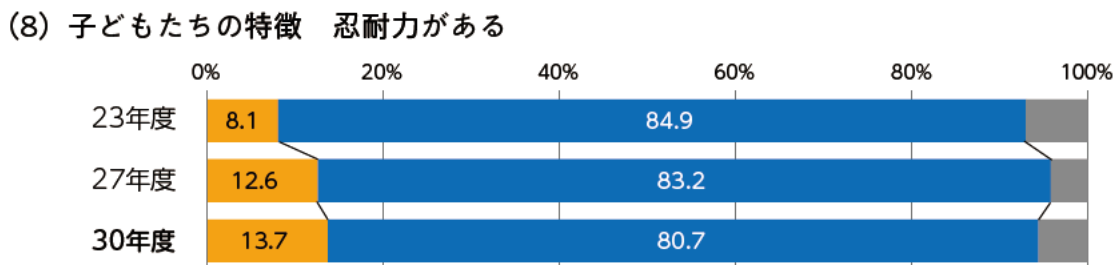
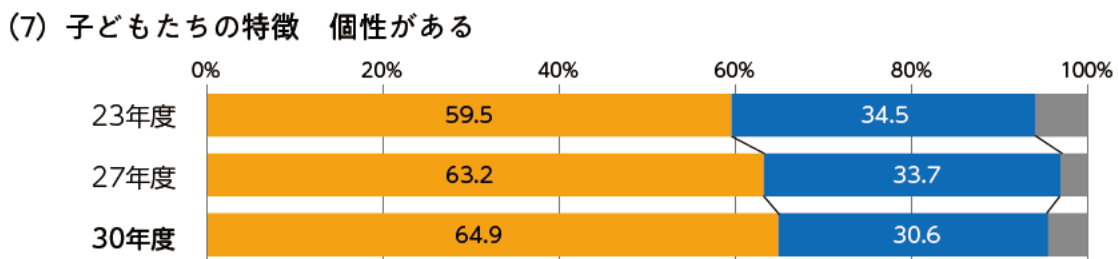
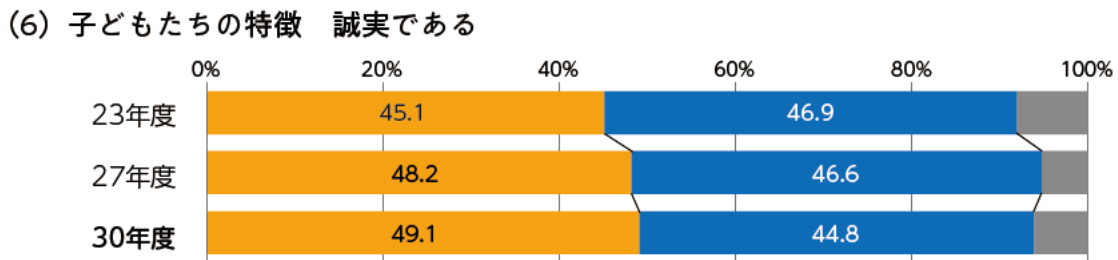
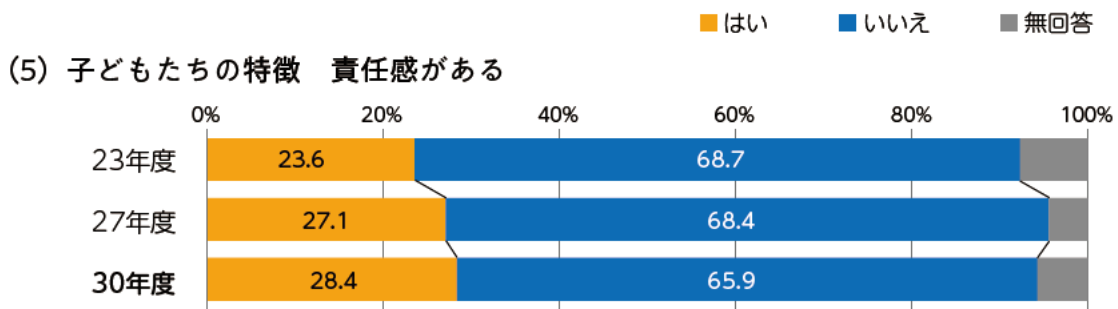
一方、「他人に対する思いやりがある」は44.4%、「意欲的である」は39.6%、「責任感がある」は28.4%、「忍耐力がある」は13.7%、「自立心がある」は25.8%、「社会に関心がある」は23.3%となっており、否定的な割合が高くなっています。

平成23年度と比較すると、「夢がある」と答えた県民は10.2ポイント上昇しています。

■ 図 3-28 あなたは、一般に今の子どもたちの特徴をどのように感じますか。



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」



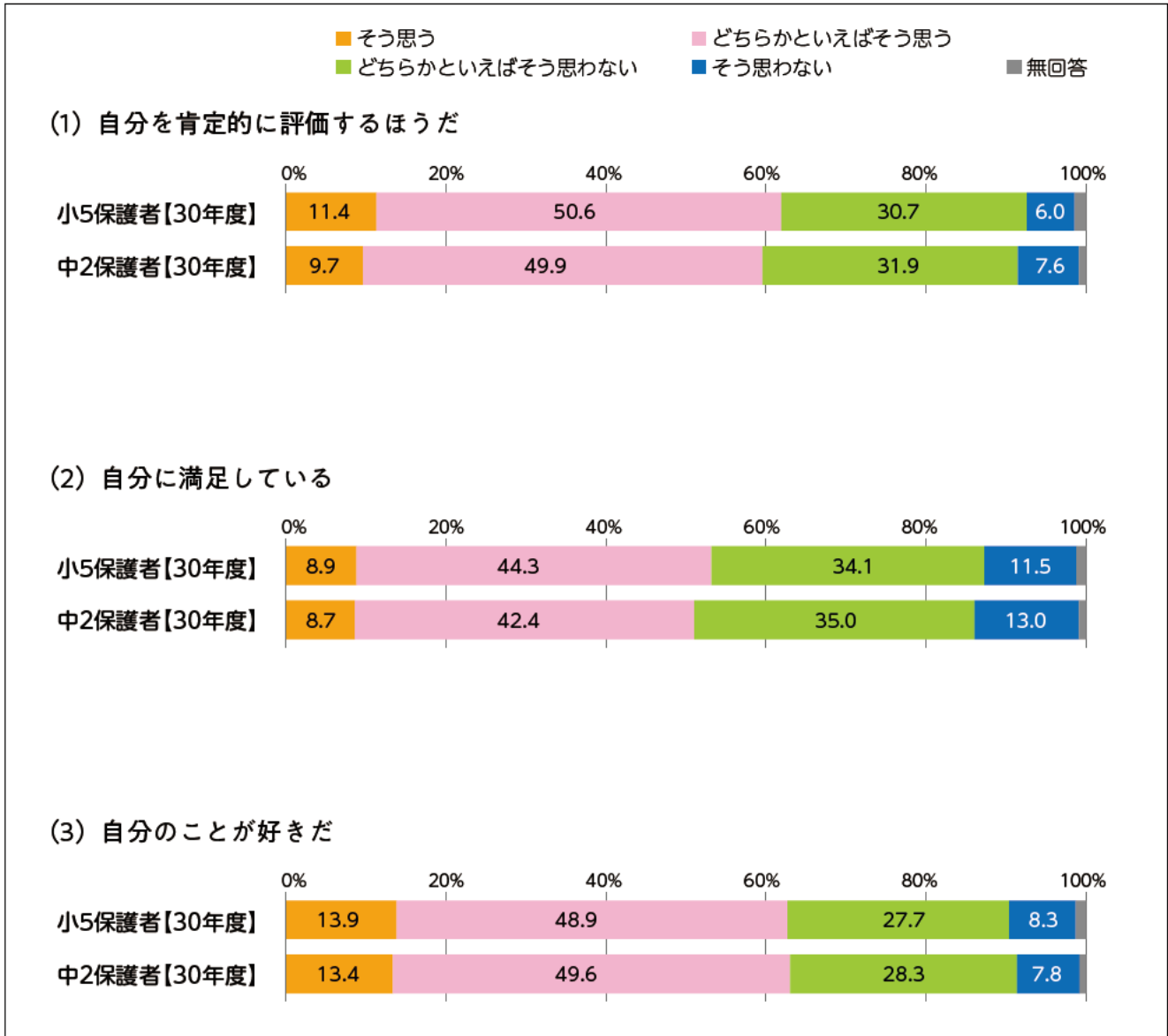
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・県民調査」

5 保護者の自己肯定感

●「自分を肯定的に評価するほうだ」、「自分のことが好きだ」と肯定的に捉える保護者は約6割。

保護者の自己肯定感について、「自分を肯定的に評価するほうだ」、「自分のことが好きだ」について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた小学生、中学生の保護者は約6割、「自分に満足している」について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた小学生、中学生の保護者は約5割となっています。

■ 図 3-29 あなた自身のことについて、あなたは次のことについてどのように思いますか。



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

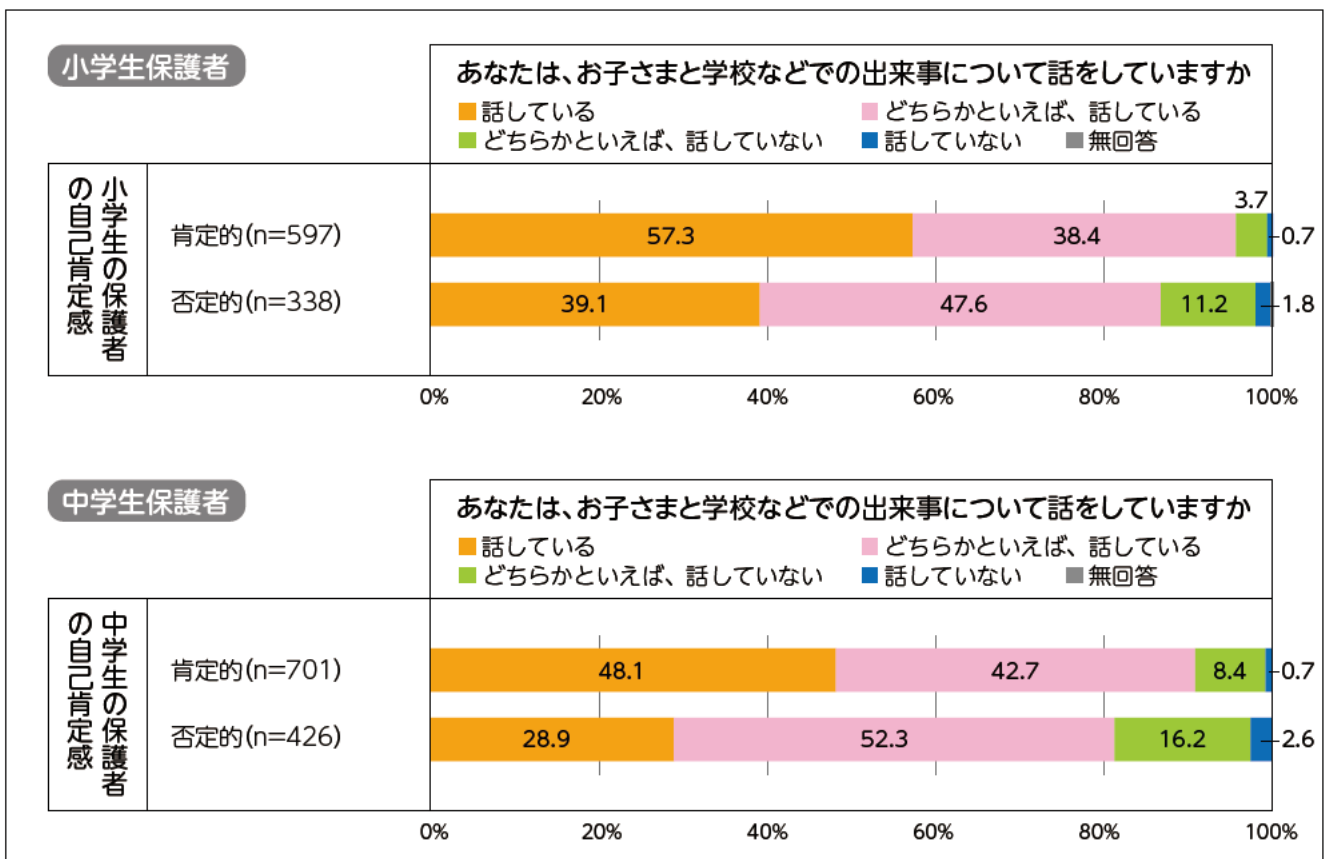
●自己肯定感の高い保護者は、低い保護者より子どもと学校などでの出来事について話をしていたり、子どものことを理解していると思う割合が高い。

「保護者の自己肯定感」と「子どもと学校などでの出来事について話をしている」の関係について、自身について肯定的に考える保護者は、否定的に考える保護者よりも、子どもと学校などでの出来事について「話している」「どちらかといえば、話している」と回答する割合が高くなっています。同様に、肯定的な保護者のほうが、子どものことを理解していると「思う」「どちらかといえば、思う」と回答する割合が高くなっています。

また、「保護者の自己肯定感」と「自身と地域の人たちの関係やつながりの強さ」の関係について、「強いほうだと思う」「どちらかといえば、強いほうだと思う」と回答する割合は、肯定的な保護者が約6割に対して、否定的な保護者は約3割となっており、保護者の自己肯定感と地域のつながりの強さに関係性がみられます。

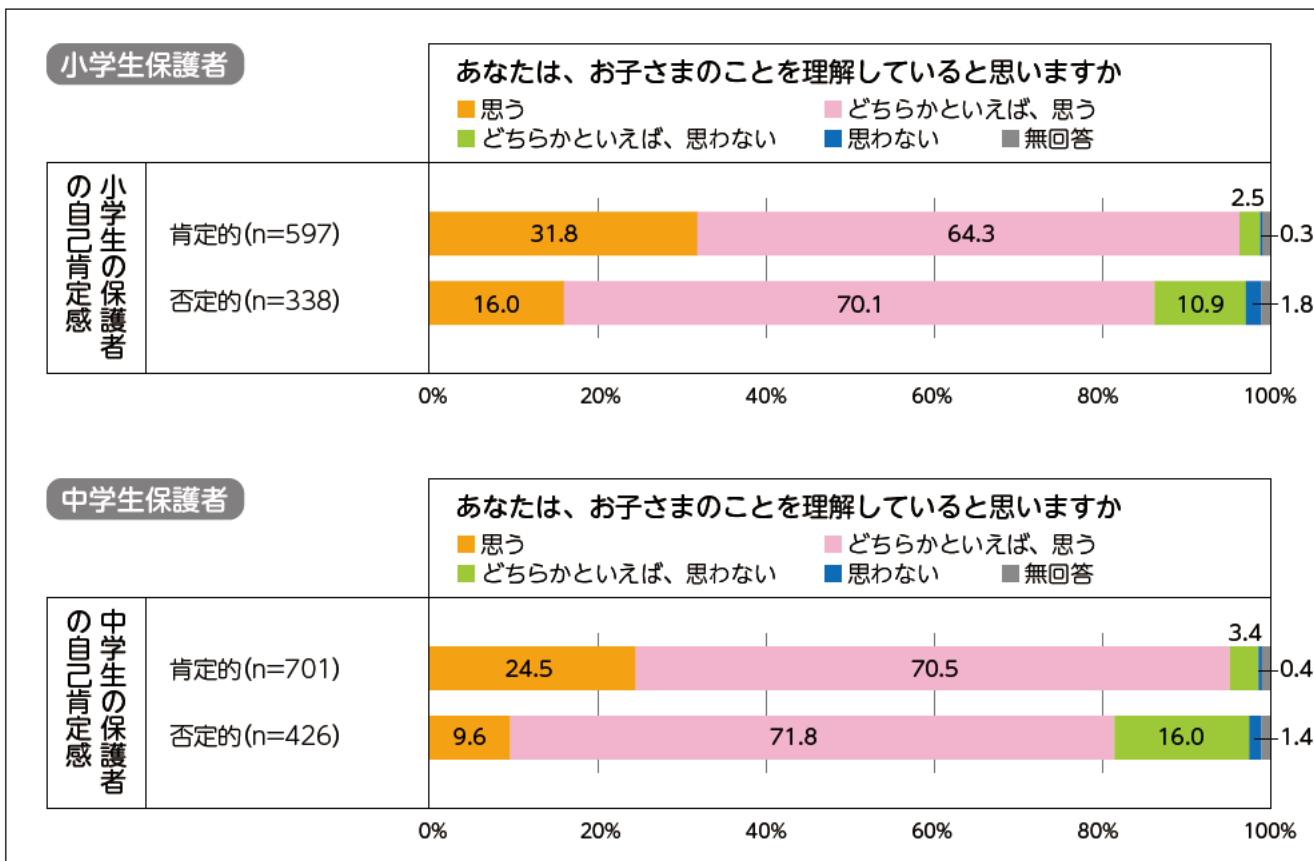
以下の図では、保護者に対する設問「あなた自身のことについて、あなたは次のことについてどのように思いますか。()自分を肯定的に評価するほうだ (2) 自分に満足している (3) 自分のことが好きだ」の(1)～(3)のいずれも「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」を選択した保護者を『肯定的』、(1)～(3)のいずれも「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」を選択した保護者を『否定的』としています。

■ 図 3-30 「保護者の自己肯定感」と「子どもと学校などでの出来事について話をしている」の関係



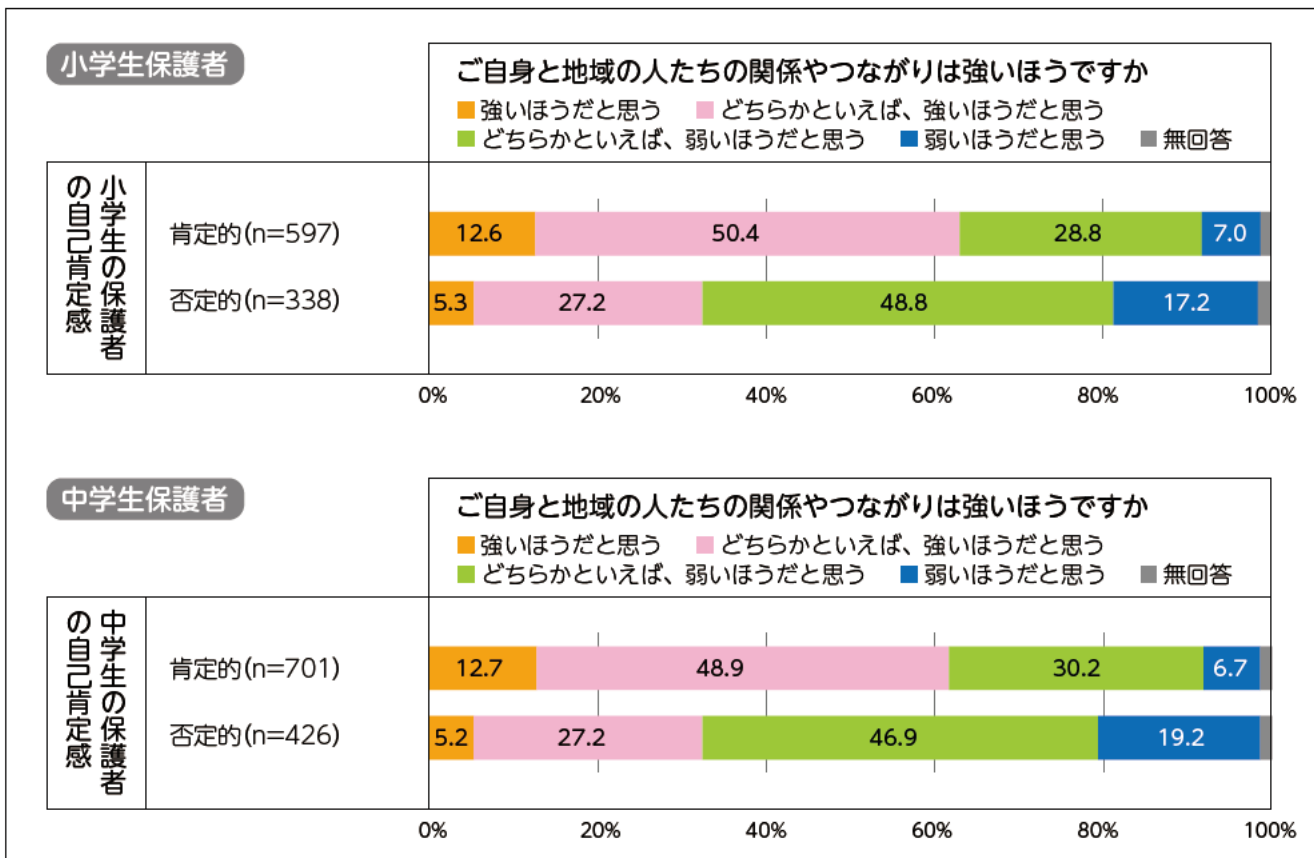
資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

■ 図 3-31 「保護者の自己肯定感」と「子どもへの理解」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」

■ 図 3-32 「保護者の自己肯定感」と「自身と地域の人たちの関係やつながりの強さ」の関係



資料：「三重県子ども条例に基づく調査・保護者調査」